

『関西大学商学論集』 総目次

(1956年4月～2006年2月)

注記

- ・以下は、1956年4月1日に組織された関西大学商学会の機関誌『関西大学商学論集』の第1巻より第50巻までの総目次である。
- ・論文表題等における旧字体の漢字は、新字体に改めた。
- ・筆者名の略字体は、正字体に改めて統一した。
- ・その他の表記については、原則として本文の表記にそのまま従った。

◆ 第1巻第1号 (1956年4月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 証券価値論の成立
 山崎 紀男 商店の診断制度
 亀井 利明 海上保険におけるいわゆる特定危険について
 清水 宗一 メイ「企業利益と物価水準に関する会計学的研究」

〔資料紹介〕

- 高堂 俊彌 フォードとゼネラル・モーターズの新労働協約について
 一年間保障賃金制 (Guaranteed Annual Wage Plan) を中心に—

◆ 第1巻第2号 (1956年6月)

〔論文〕

- 河村 宜介 英国観光事業の展望
 寺尾 晃洋 公益事業政策史の一齣 —政策形成を中心として—
 末政 芳信 限界原価計算への発展過程
 —ローレンス・ハンフリース共著「限界原価計算論」研究(二)—

〔資料紹介〕

- 亀井 利明 自動車損害賠償責任保険の概要

◆ 第1巻第3号 (1956年8月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 証券価値の本質
 賀屋 俊雄 海上売買形態の研究(一)
 高堂 俊彌 経営労資関係の経営理論によせて—戦後のわが国における経営労資関係論の潮流(三)—

〔資料紹介〕

- 柏尾 昌哉 ニューイングランド漁業について
 THE NEW ENGLAND FISHING INDUSTRY, A Study in Price and Wage Setting, 1954. By Donald J. White.
 来住 哲二 「地中海世界に於ける中世貿易」について—契約形態を中心として—
 Robert S. Lopez & Irving W. Raymond: *Medieval Trade in the Mediterranean World*, 1955.

◆ 第1巻第4号 (1956年10月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 株式価値の特質
 賀屋 俊雄 海上売買形態研究 (二)
 柏尾 昌哉 組合漁業の実態 —磯漁業を中心とした—漁村において—

〔資料紹介〕

- 瀬尾美巳子 戦后におけるアメリカの市場構造
 —J. F. Dewhurst “America’s Needs and Resources” 1955の資料検討を中心に—

◆ 第1巻第5号 (1956年12月)

〔論文〕

- 山崎 紀男 大都市近郊農村の消費者行動—兵庫県揖保郡五ヶ町調査を中心として—
 今西庄次郎 株式の市場性価値の大いさ
 清水 宗一 メイの会計公準論の展開

〔資料紹介〕

- 沼田 昭夫 海運経営とその経営経済的問題
 植野 郁太 土岐政蔵著『損益計算』を読んで

◆ 第1巻第6号 (1957年3月)

〔論文〕

- 廣田 司朗 H・クーノーの租税思想
 賀屋 俊雄 海上売買形態研究 (三)
 川元 英二 米国社会保障制度における老令および遺族年金制度の変遷
 亀井 利明 海上保険におけるストライキ危険の取扱とその約款
 柏尾 昌哉 漁村における組合漁業と小売商業の実態—転換期にある漁村の一つの場合—

〔学会消息〕

◆ 第2巻第1号 (1957年5月)

〔論文〕

- 河村 宜介 ソーシャル・ツーリズムについて—丁扶有給休暇法を中心として—
 川元 英二 米国社会保障制度における老令および遺族年金制度の変遷 (二)
 末政 芳信 直接原価計算と価格政策 (一)
 来住 哲二 指図式船荷証券と記名式船荷証券 (I)

〔資料紹介〕

- 柏尾 昌哉 イギリスの漁業についての—紹介—Henry Wood: *Fisheries of the United Kingdom*—

◆ 第2巻第2号 (1957年6月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 会社増資と株式価値の大いさ (一)
 末政 芳信 直接原価計算と価格政策 (二)
 河合 信雄 道徳的磨損と社会主義減価償却制度—張維達のソビエト会計学批判—

来住 哲二 指図式船荷証券と記名式船荷証券（Ⅱ）

◆ 第2巻第3号（1957年8月）

〔論文〕

- 山崎 紀男 アメリカの小売業とその雇用
 廣田 司朗 K・カウツキーの財政思想（一）
 瀬尾美巳子 販路法則の批判的体系について—アメリカ市場問題研究のための理論的序説—
 亀井 利明 スウェーデンにおける保険企業の経営について

◆ 第2巻第4号（1957年10月）

〔論文〕

- 今西庄次郎 会社増資と株式価値の大きさ（二）
 柏尾 昌哉 漁村における商業の一傾向
 川元 英二 米国社会保障制度における老令および遺族年金制度の1956年の改正
 沼田 昭夫 日本冷凍運搬船業の動向

〔資料紹介〕

- 寺尾 晃洋 A・A・ロゴウ『労働党政府とイギリス産業1945—1951年』
 —A.A. Rogow, with the assistance of Peter Shore, *The Labour Government and British Industry 1945-1951*, Oxford, 1955. xiii + 196 pp. —

◆ 第2巻第5号（1957年12月）

〔論文〕

- 賀屋 俊雄 帆下売買（La vente sous Voile）について
 —1850年代白国アントワープ港を中心として行われた海上売買慣習—
 瀬尾美巳子 戦後アメリカの経済成長と景気循環の若干の特質について

〔資料紹介〕

- 柏尾 昌哉 世界海洋漁業の一つの紹介—Robert Morgan: *World Sea Fisheries*, 1956—
 酒井 文雄 戦後各国における再評価事情
 河合 信雄 汪立稿『商業企業経営分析』の方法

◆ 第2巻第6号（1958年2月）

〔論文〕

- 廣田 司朗 K・カウツキーの財政思想（二）
 寺尾 晃洋 わが国の公企業における独立採算制の一考察—国有鉄道の場合—
 亀井 利明 メモランダム・クローズの生成発展

〔学会消息〕

◆ 第3巻第1号（1958年4月）

〔論文〕

- 安田 信一 産業構造と金融構造—1920年代におけるアメリカ経済との関連において—
 廣田 司朗 K・カウツキーの財政思想（三）

来住 哲二 確認信用状についての再検討

〔資料紹介〕

高堂 俊彌 科学的管理の生成と発展—ナドワーニー『科学的管理と労働組合』について—

◆ 第3巻第2号 (1958年6月)

〔論文〕

今西庄次郎 会社順調な場合の株式価値の大いさ

清水 宗一 メイの低価法

山上 達人 レーマン「価値創造計算」についての一考察—経営産出所得の測定の純化によせて—

〔文献目録〕

酒井 文雄 わが国の資産再評価に関する主要文献目録

◆ 第3巻第3号 (1958年8月)

故 賀屋俊雄教授追悼号

〔論文〕

植野 郁太 AAA会計基準 (57年版) に関する若干の考察

瀬尾美巴子 米国工業生産発展の歴史的趨勢と循環に関する統計的考察

大橋 昭一 シェア—の協同組合思想について—経営の協同組合的国民共同体論—

木田 和男 セビリャ商人ギルドの貿易独占

小林 英夫 1899—1939年のアメリカ製造工業における生産性の趨勢について

故 賀屋俊雄教授年譜・著作目録

◆ 第3巻第4号 (1958年10月)

〔論文〕

川元 英二 米国私営退職年金制度の基本的諸事項 (一)

富山 忠三 監査概念拡大化への反抗

山上 達人 経営経済性の測定についての一考察—レーマン「価値創造計算」の所説を中心として—

〔資料紹介〕

松谷 勉 転換証券による資本調達について

—*Raising Capital with Convertible Securities*, 1955. By C. James Pilcher—

沼田 昭夫 鉦石専用船に就いての一考察

◆ 第3巻第5号 (1958年12月)

〔論文〕

川元 英二 米国私営退職年金制度の基本的諸事項 (二)

柏尾 昌哉 一漁村における遠洋漁業と製造工業の分析

廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (一)

〔資料紹介〕

酒井 文雄 ウィルコックス・グリア「価格水準調整会計批判」

小林 英夫 ガートルード・G・シュレーダー

「1900—1950年の主要製鋼会社の成長」

— Gertrude G. Schroeder: *The Growth of Major Steel Companies, 1900 — 1950*, Baltimore, Johns Hopkins Press, 1953, pp. 244.—

◆ 第3巻第6号 (1959年2月)

〔論文〕

- 河村 宜介 ツーア・オペレーターの濫觴とその活動
 柏尾 昌哉 マーケティングについての一分析
 清水 宗一 先入先出法と後入先出法—ペイトンの所説を中心として—

〔資料紹介〕

- 河合 信雄 資本剰余金と創業利得—岡部教授と内川講師の論争によせて—
 飯野 春樹 組織と人間行動

— Chris Argyris, *Personality and Organization, The Conflict Between System and the Individual* (New York: Harper, 1957). pp. xiii + 291.—

〔学会消息〕

◆ 第4巻第1号 (1959年4月)

〔論文〕

- 植野 郁太 減価償却の意義とその計算方法
 亀井 利明 生動物の死亡と海上保険
 瀬尾美巳子 米国工業における産業循環の変型とその構造—成長率分析の試み—

〔資料紹介〕

- 寺尾 晃洋 M・エノーディ、M・ビュ、E・ロッシ「フランスとイタリアの国有化」
 — M. Einaudi, M. Byé & E. Rossi, *Nationalization in France and Italy*, Cornell University, New York, 1955. X + 260 pp.—

◆ 第4巻第2号 (1959年6月)

〔論文〕

- 川元 英二 米国私営退職年金制度の基本的諸事項 (三)
 廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (二)
 木村 滋 国際均衡と国内均衡—キンドルバーガーとハロッドをめぐる—
 杉本 昭七 社会主義国における外国貿易収益性理論の展開過程

〔資料紹介〕

- 沼田 昭夫 鉱石専用船に就いての一考察 (続)

◆ 第4巻第3号 (1959年8月)

〔論文〕

- 河野 稔 資本制社会における社会政策機能の二重性 (1)
 — 貧困化要因の作用に関するクチンスキーの所説を中心として—
 高堂 俊彌 科学的管理とAFL—「科学的管理と労働」研究 (一)—
 大橋 昭一 シェア—商業経営学における商業学の科学化について (一)
 松谷 勉 アメリカ優先株の発達 (一)

山上 達人 レーマン「財務計画論」についての一考察（一）—管理論的思考との関係—
〔書評〕

小林 英夫 マーク・パールマン著「アメリカにおける労働組合理論」
Mark Perlman; *Labor Union Theories in America—Background and Development.*
Evanston, Ill., Row, Peterson and Co., 1958.

◆ 第4巻第4号（1959年10月）

〔論文〕

河野 稔 資本制社会における社会政策機能の二重性（2）
—貧困化要因の作用に関するクチンスキーの所説を中心として—
清水 宗一 個別法と平均法—ペイトンの所説を中心として—
大橋 昭一 シェアー商業経営学における商業学の科学化について（二）
山上 達人 レーマン「財務計画論」についての一考察（二）—管理論的思考との関係—

◆ 第4巻第5号（1959年12月）

〔論文〕

柏尾 昌哉 水産商品の流通に関する若干の問題—日本水産業のマーケティング展望—
瀬尾美巳子 産業循環の実証的計測方法について（I）—ミッチェル=バーンズ方式批判—
大橋 昭一 デイトリッヒ労働共同体論に関する一考察（一）
—ドイツ経営学における経営社会学的思考の一萌芽—
山上 達人 レーマン「原価理論」についての一考察（一）

〔資料紹介〕

木村 滋 モザック「国際貿易における一般均衡理論」（一）*GENERAL-EQUILIBRIUM THEORY IN INTERNATIONAL TRADE*. By LACOB L. MOSAK, 1944.

◆ 第4巻第6号（1960年2月）

〔論文〕

酒井 文雄 営業費の一考察—マクネーヤの米国百貨店営業費分析—
飯野 春樹 組織理論をめぐる一考察—組織行動を中心—
瀬尾美巳子 産業循環の実証的計測方法について（II）—ミッチェル=バーンズ方式批判—
杉本 昭七 社会主義開発方式=重工業化と生活水準—生活水準低下理論の批判—

〔資料紹介〕

木村 滋 モザック「国際貿易における一般均衡理論」（二）

〔学会消息〕

◆ 第4巻第7・8合併号（1960年3月）

〔論文〕

廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策（三）
亀井 利明 商業危険と海上危険
大橋 昭一 デイトリッヒ労働共同体論に関する一考察（二）
—ドイツ経営学における経営社会学的思考の一萌芽—

山上 達人 レーマン「原価理論」についての一考察 (二)
 [学会消息]

◆ 第5巻第1号 (1960年4月)

[論文]

川元 英二 米国の預金管理式および直接参加保証式団体年金制度について
 来住 哲二 譲渡可能信用状について
 山上 達人 レーマン「原価理論」についての一考察 (三)

[資料紹介]

中辻 卯一 電子計算機と経営管理
 — George Kozmetsky and Paul Kircher, *Electronic Computers and Management Control*
 (MacGraw, 1956).

[書評]

飯野 春樹 ロイ著『管理過程』
 Robert H. Roy, *The Administrative Process*, Baltimore, The Jous Hopkins Press, 1958.

◆ 第5巻第2号 (1960年6月)

[論文]

廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (四)
 亀井 利明 危険包括負担の原則の変遷

[研究ノート]

瀬尾美巳子 アメリカにおける資本集中運動とその若干の論点について

◆ 第5巻第3号 (1960年8月)

[論文]

山崎 紀男 米国に於けるTrading Stamps—その発達と展望—
 木村 滋 パティンキンの巨視的模型とその開放体系への適用
 松谷 勉 戦後のアメリカに於ける機関投資家の株式投資について (一)

[資料紹介]

瀬尾美巳子 ロストウ「経済成長の諸段階」
 W. W. Rostow, *The Stages of Economic Growth, a Non Communist Manifesto*, Cambridge
 University Press, London, 1960.

◆ 第5巻第4号 (1960年10月)

[論文]

富山 忠三 商業教育における人間形成 (一) —社会的責任意識を中心として—
 廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (五)
 亀井 利明 海上保険における免責条項の形態

[資料紹介]

飯野 春樹 アメリカ産業におけるイノベーションと人的資源

◆ 第5巻第5号 (1960年12月)

〔論文〕

- 富山 忠三 商業教育における人間形成 (二) —社会的責任意識を中心として—
 杉本 昭七 「二つの世界市場論」に関する一試論—木下悦二教授の見解に対して—
 山上 達人 「経済性思考とその測定方法」(一)
 —M・R・レーマンの所説の発展段階の分析をめぐって—

〔資料研究〕

- 中辻 卯一 電子計算機の特徴—近代的経営事務の理解のための一里程として—

◆ 第5巻第6・7合併号 (1961年2月)

〔論文〕

- 廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (六)
 木田 和雄 キューバの経済構造と土地改革
 山上 達人 「経済性思考とその測定方法」(二)
 —M・R・レーマンの所説の発展段階の分析をめぐって—

〔書評〕

- 杉本 昭七 ゲー・グレービッヒ『社会主義世界体制における国際分業と外国貿易』
 — G. Gräbig, *Internationale Arbeitsteilung und Außenhandel im sozialistischen Weltsystem*,
 Berlin, 1960—

〔学会消息〕

◆ 第6巻第1号 (1961年4月)

〔論文〕

- 寺尾 晃洋 独立採算制批判序説 (一)
 廣田 司朗 ドイツ社会民主党の財政政策 (七)

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 経営事務論に関する一考察 (1) —近代的事務管理論への接近—

〔資料紹介〕

- 来住 哲二 輸出市場における販売—T. Mansel Hodges: *Selling in the Export Market*, 1959.—

◆ 第6巻第2号 (1961年6月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託証券は果して証券であるか
 清水 宗一 自己金融の一考察—ゼリエンの所論を中心として—
 木村 滋 貿易独占とゲームの理論
 杉本 昭七 一つの世界市場論の論理について—再び木下悦二教授の見解に対して—

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 オフィスマネジメントの新しい傾向—経営事務論に関する一考察 (2) —

◆ 第6巻第3・4合併号 (1961年10月)

〔論文〕

- 木村 滋 投資増加・為替切下げと国民所得・貿易差額
 瀬尾美巳子 先進国経済発展の計測的模型 (一)
 松谷 勉 戦後のアメリカに於ける機関投資家の株式投資について (二)

〔資料紹介〕

- 中辻 卯一 穿孔カード方式について

◆ 第6巻第5・6合併号 (1962年2月)

〔論文〕

- 山崎 紀男 販売促進に関する若干の問題
 瀬尾美巳子 先進国経済発展の計測的模型 (二)
 山上 達人 生産性比較と収益性比較—レーマン「経営比較論」の所説を中心として—

〔資料紹介〕

- 沼田 昭夫 アメリカにおける冷蔵倉庫業

〔学会消息〕

◆ 第7巻第1号 (1962年4月)

〔論文〕

- 富山 忠三 販売費思考
 川元 英二 イギリス私的退職年金制度の発展について (一)

〔書評〕

- 吉信 肅 フリッツ・エンデルライン『社会主義諸国と資本主義諸国との間の国際分業』
 —Fritz Enderlein, *Die internationale Arbeitsteilung zwischen sozialistischen und kapitalistischen Staaten*, Berlin 1960—

〔資料紹介〕

- 大橋 昭一 ドイツの経営者—ドイツの企業経営 (一) —

◆ 第7巻第2号 (1962年6月)

〔論文〕

- 柏尾 昌哉 水産商品の配給経路に関する研究
 川元 英二 イギリス私的退職年金制度の発展について (二)

〔研究ノート〕

- 瀬尾美巳子 ドル危機と「信用恐慌」—管理通貨制度の矛盾について—

〔資料紹介〕

- 大橋 昭一 ドイツの経営管理—ドイツの企業経営 (二) —

◆ 第7巻第3号 (1962年8月)

〔論文〕

- 富山 忠三 販売能率の測定
 高尾 忠男 近代監査と損益計算書の監査—とくにP/L監査の特質によせて—

- 寺尾 晃洋 社会資本と独立採算制
 沼田 昭夫 冷蔵倉庫機能論
 山上 達人 物量的生産性と価値的生産性—シュネットラー「経営分析論」の所説を中心として—

◆ 第7巻第4号 (1962年10月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託（証券共同投資組織）の配当政策
 柏尾 昌哉 配給組織問題主体に関する一見解
 木村 滋 要素価格均等化理論—サミュエルソンから非線型計画理論へ—
 山上 達人 ドイツ生産性会計論の基調—生産性会計論の構造について—

◆ 第7巻第5号 (1962年12月)

〔論文〕

- 柏尾 昌哉 農産物マーケティングについての一批判
 木村 滋 後進国経済開発計画と外資—その理論的模型—
 中辻 卯一 システム研究について

〔資料紹介〕

- 大橋 昭一 ドイツの企業者連合団体—ドイツの企業経営（三）—

◆ 第7巻第6号 (1963年2月)

〔論文〕

- 柴田銀次郎 港湾財政のあり方
 安田 信一 貨幣価値と経済の安定
 沼田 昭夫 道路費用と自動車課税についての一考察
 大橋 昭一 R・エーレンベルヒの労働共同体論について（一）
 松谷 勉 投資信託の本質とその運用対象について

〔資料紹介〕

- 中辻 卯一 神戸新聞社刊『P. C. S. による計算体系』

〔学会消息〕

◆ 第8巻第1号 (1963年4月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託（証券共同投資組織）の管理問題
 柏尾 昌哉 スーパーマーケットの経済的分析
 大橋 昭一 R・エーレンベルヒの労働共同体論について（二）

〔資料紹介〕

- 富山 忠三 世界意識への教育（一）—The World's Good Education for World-mindedness—
 酒井 文雄 ゲーテと複式簿記Goethe und doppelte Buchhaltung—Rechnung des Lebens—

◆ 第8巻第2号 (1963年6月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託（証券共同投資組織）と株式相場変動
 植野 郁太 新商法における会計理念—企業会計原則との関連において—
 飯野 春樹 バーナードの流れをくむ管理論について

〔資料紹介〕

- 富山 忠三 世界意識への教育（二）
 酒井 文雄 会計学上の費用概念に関する一考察—ベートンの所論を中心として—
 中辻 卯一 穿孔カード システムに関する七つの必要条件

◆ 第8巻第3・4合併号 (1963年10月)

〔論文〕

- 柴田銀次郎 港湾労働問題の焦点
 川元 英二 イギリス私的退職年金制度の租税特典について（一）
 宮下 孝吉 オランダ・東インド会社とその日本産銅の貿易
 寺尾 晃洋 公企業論の基本問題—基本規定と研究視角—

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 マネジメントとシステム理論（一）

〔資料紹介〕

- 飯野 春樹 アルバースの管理論—Henry, H. Albers, *ORGANIZED EXECUTIVE ACTION: DECISION-MAKING, COMMUNICATION, AND LEADERSHIP*. (John Wiley & Sons, Inc., 1961, 604 pp.) —
 木村 滋 国際通貨基金「国際収支表作成提要」（1961年版）（一）
 —IMF: Balance of Payments Manual, 1961.—

◆ 第8巻第5号 (1963年12月)

〔論文〕

- 川元 英二 イギリス私的退職年金制度の租税特典について（二）
 柏尾 昌哉 小売配給組織問題
 寺尾 晃洋 資本制生産と公企業の形成についての理論的考察（一）

〔資料研究〕

- 中辻 卯一 入試事務とP. C. S. —学校事務の機械化（一）—

〔資料紹介〕

- 木村 滋 国際通貨基金「国際収支表作成提要」（1961年版）（二）
 —IMF: Balance of Payments Manual, 1961—

◆ 第8巻第6号 (1964年2月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託証券の価値
 川元 英二 イギリス私的退職年金制度の租税特典について（三）
 富山 忠三 経営監査の教科的性格（一）

寺尾 晃洋 資本制生産と公企業の形成についての理論的考察 (二)

〔資料紹介〕

吉信 肅 ルドルフ・ブラウアー「社会主義国際分業と社会主義諸国の
外国貿易の経済的利益測定の諸問題」(一) —Rudolf Brauer: *Probleme der Ermittlung des
ökonomischen Nutzens der sozialistischen internationalen Arbeitsteilung und des
Außenhandels sozialistischer Staaten*, Verlag die Wirtschaft Berlin, 1962.—

〔学会消息〕

◆ 第9巻第1号 (1964年4月)

〔論文〕

寺尾 晃洋 現代公企業における独立採算制の理論的意義—独占資本主義との関連において—

瀬尾美巳子 ドル問題とIMF体制 (一) —国際流動性と「恐慌」—

木田 和雄 ラテン・アメリカにおける土地所有形態の特質

〔資料紹介〕

吉信 肅 ルドルフ・ブラウアー「社会主義国際分業と社会主義諸国の
外国貿易の経済的利益測定の諸問題」(二) —Rudolf Brauer: *Probleme der Ermittlung des
ökonomischen Nutzens der sozialistischen internationalen Arbeitsteilung und des
Außenhandels sozialistischer Staaten*, Verlag die Wirtschaft Berlin, 1962.—

◆ 第9巻第2号 (1964年6月)

〔論文〕

宮下 孝吉 カール大王の政治生活—カロリング時代研究序説—

今西庄次郎 投資信託制か投資会社制か

瀬尾美巳子 ドル問題とIMF体制 (二) —国際流動性と「恐慌」—

〔資料紹介〕

廣田 司朗 EECにおける財政問題 (一) —F. ノイマルクの初期の見解—

◆ 第9巻第3号 (1964年8月)

〔論文〕

柏尾 昌哉 戦後の日本総合商社の性格

長砂 實 「社会主義の基本的経済法則」論の検討 (一) —現代社会主義経済法則論の構造(2)—

〔資料紹介〕

富山 忠三 大学教育の考現学的思考 (一) —米国大学における拘束と多様性を中心にして—

廣田 司朗 EECにおける財政問題 (二) —R. レーゲルの見解について—

◆ 第9巻第4号 (1964年10月)

〔論文〕

柴田銀次郎 港湾財政確立の問題

今西庄次郎 投資信託(証券共同投資組織)の運用規模

植野 郁太 商法損益計算書の記載方法について

木村 滋 国際均衡の財的・貨幣的基礎—対内外均衡と貸出政策—

〔資料紹介〕

富山 忠三 大学教育の考現学的思考（二）—米国大学における拘束と多様性を中心として—

◆ 第9巻第5号（1964年12月）

〔論文〕

酒井 文雄 企業交際費管見
木村 滋 古典学派の物価—正貨流出入機構
保田 芳昭 現代マーケティング論と消費者中心志向

〔資料紹介〕

廣田 司朗 EECにおける財政問題（三）—その租税問題について—

〔研究ノート〕

中辻 卯一 PERT, CPM序説（1）—マネジメントとシステム理論（2）—

◆ 第9巻第6号（1965年2月）

〔論文〕

清水 宗一 ニックリッシュの財務論についての一考察
長砂 實 「社会主義の基本的経済法則」論の検討（二）—現代社会主義経済法則論の構造（2）—

〔研究ノート〕

中辻 卯一 PERT, CPM序説（2）

〔学会消息〕

◆ 第10巻第1号（1965年4月）

〔論文〕

今西庄次郎 投資信託公開運用論—投資信託の硝子張り運用はどうあるべきか—
大橋 昭一 ニックリッシュ商事経営学における企業概念についての一考察
松谷 勉 投資銘柄選択論（一）

〔資料紹介〕

川元 英二 イギリスにおける国民年金と私的退職年金制度との調整・総合その他について（一）

◆ 第10巻第2号（1965年6月）

〔論文〕

高堂 俊彌 科学的管理と経営者—独占移行期における労資関係をめぐって—
木村 滋 購買力移転説
大橋 昭一 ニックリッシュ商事経営学における価値概念についての一考察
長砂 實 「国民経済の計画性をもった、釣合いのとれた発展の法則」論の検討

〔資料紹介〕

川元 英二 イギリスにおける国民年金と私的退職年金制度との調整・総合その他について（二）

◆ 第10巻第3・4・5合併号（1965年11月）

創立80周年記念特輯

序文 学長 森川太郎

序 商学部長 高尾忠男

〔論文〕

- 今西庄次郎 投資信託（証券共同投資組織）における投資単位—併せて投資資本の種類問題—
 川元 英二 イギリスにおける寡婦・遺児年金制度その他死亡給付制度について
 柴田銀次郎 自由港に対するわが国の態勢
 宮下 孝吉 カロリング時代の商業
 亀井 利明 Inchmaree clauseと保険者の責任
 保田 芳昭 戦後アメリカにおける年令集団別細分市場とマーケティング戦略
 飯野 春樹 組織論的管理論の一体系
 大橋 昭一 ニックリッシュ経営共同体論の生成過程
 植野 郁太 会計公準について
 高尾 忠男 財務諸表監査と貸借対照表監査—ブロードの監査理論とB/S監査の特質について—
 富山 忠三 会計教育の諸問題とその展開—米国の会計教育を中心として—
 酒井 文雄 古代メソポタミアの商業簿記
 高柳 龍芳 公認会計士の権限に関する—考察—ドイツ監査制度を基線として—
 木村 滋 トランスファー理論の成長的視点と貨幣的視点
 長砂 實 チェコスロバキアの新しい経済管理制度について
 —とくに社会主義的な計画化と商品・貨幣的諸関係の相互関係の問題—

◆ 第10巻第6号（1966年2月）

〔論文〕

- 植野 郁太 財務諸表の社会的意義
 柴田銀次郎 わが国港湾事業の企業性
 大橋 昭一 ニックリッシュの価値論
 中辻 卯一 トータル・システムに関する—考察—
 松谷 勉 投資銘柄選択論（二）—H・ソーベーンの証券選択論について—

〔学会消息〕

◆ 第11巻第1号（1966年4月）

〔論説〕

- 今西庄次郎 株式利回り革命説批判
 富山 忠三 学習のメカニズム
 大橋 昭一 ニックリッシュ経営共同体論の基本的特質
 長砂 實 「労働生産性のたゆみない向上の経済法則」論批判（一）

◆ 第11巻第2号（1966年6月）

〔論説〕

- 今西庄次郎 証券本質論補足
 清水 宗一 価格変動会計の動向
 高柳 龍芳 補足的説明事項と監査人の責任—監査基準の改正に寄せて—

〔学習指導〕

富山 忠三 商業英語の学習—Learning of Business English—

亀井 利明 アメリカ協会期間（船舶）保険証券書式

〔Articles〕

Yoshinobu Suemasa Break-even Analysis and Fixed Overhead Costing (1)

◆ 第11巻第3号（1966年8月）

〔論説〕

大橋 昭一 規範的経営学論の若干問題

高柳 龍芳 「不適性意見」と「意見差控」に関する一考察

保田 芳昭 市場細分化論についての一考察

〔資料紹介〕

寺尾 晃洋 地方公営企業法改正の問題点

〔学習指導〕

高柳 龍芳 簿記修得のための提言

〔Articles〕

Yoshinobu Suemasa Break-even Analysis and Fixed Overhead Costing (2)

◆ 第11巻第4号（1966年11月）

〔論説〕

高柳 龍芳 西ドイツにおける監査規定の改正について

清水 宗一 棚卸資産原価配分の成立

河野 稔 総合科学としての「社会経営政策論」—ポトホフ「社会経営政策論」をめぐって—

〔資料紹介〕

末政 芳信 タットル教授の損益分岐点分析論について

◆ 第11巻第5号（1967年1月）

〔論説〕

富山 忠三 大学教育における弁証法的自己同一—ゼミ教育によせて—

大橋 昭一 ニックリッシュ経済性論の発展過程

木村 滋 ユーロ・ダラー

〔研究ノート〕

高柳 龍芳 公示監査報告書の発展について

◆ 第11巻第6号（1967年3月）

〔論説〕

河野 稔 「規範科学」と「存在科学」—ポトホフ社会経営政策論をめぐって（2）—

富山 忠三 購買管理における概念の再構成—適質選定を中心として—

木村 滋 支持点メカニズムと外国為替相場

高柳 龍芳 機密監査報告書の作成原則について

長砂 實 「社会主義国家」論の古典の現代的意義

〔学会消息〕

◆ 第12巻第1号 (1967年4月)

〔論説〕

- 今西庄次郎 株式価値の株式投資への応用
 柴田銀次郎 港湾労働法とその効果
 来住 哲二 わが国の現行貿易制度について
 末政 芳信 原価計算方式とL・Pの関係(1) —C・V・P分析への一考察—

〔資料〕

- 飯野 春樹 図解 経営管理論の展開
 木村 滋 ホルゲート・シレット著『為替算術』
 —H. C. F. Holgate and W. W. Syrett, *Exchange Arithmetic, Fifth Edition*, London, Pitman, 1966.—

◆ 第12巻第2号 (1967年6月)

〔論説〕

- 富山 忠三 ハワードの教授過程論
 廣田 司朗 ドイツ社会民主党の戦時財政政策(1) —公債問題—
 来住 哲二 輸入貿易取引について
 末政 芳信 原価計算方式とL・Pの関係(2) —C・V・P分析への一考察—

◆ 第12巻第3号 (1967年8月)

〔論説〕

- 宮下 孝吉 十六世紀におけるイスパニアの西インド貿易
 末政 芳信 製品組合せに対する貢献利益分析の適用
 長砂 實 社会・共産主義経済学の端緒的範疇について—諸説の批判的検討—
 中辻 卯一 電子計算機導入計画の概要

◆ 第12巻第4・5・6号 (1968年2月)

河村宜介教授古稀記念特輯

献辞 商学部長 廣田司朗

〔論説〕

- 富山 忠三 欧州における経営教育と権威主義
 宮下 孝吉 十六世紀におけるイスパニアの交通事情
 安田 信一 ケインズ経済学の貨幣的側面についての—考察—
 飯野 春樹 協働体系・組織から管理へ—バーナード理論の一考察—
 木村 滋 支持点メカニズムと外国為替操作—ポートフォリオ・セレクション・アプローチ—
 高堂 俊彌 人事管理発展史研究—第I部 人事管理成立史論—
 末政 芳信 短期利益計画計算としてのC・V・P分析の課題
 保田 芳昭 ミリタリー・マーケティング論の展開のために—森下二次也教授の所説を中心として—
 河村宜介教授 略歴・著作目録

〔学会消息〕

◆ 第13巻第1号 (1968年4月)

〔論説〕

- 飯野 春樹 バーナードにおけるコミュニケーションとオーソリティー
 長砂 實 「社会主義的商品生産」および「社会主義的価値法則」の二重性について (1)

〔研究ノート〕

- 高柳 龍芳 ドイツ株式法における監査制度について (1)

〔資料〕

- 植野 郁太 会計制度の概要

◆ 第13巻第2号 (1968年6月)

〔論説〕

- 来住 哲二 船荷証券についての一考察
 安田 信一 銀行の経営活動と全体としての経済活動
 高柳 龍芳 監査における総合意見に関する一考察
 長砂 實 「社会主義的商品生産」および「社会主義的価値法則」の二重性について (2)

◆ 第13巻第3号 (1968年8月)

〔論説〕

- 今西庄次郎 投資信託の運用対象論
 稲村 毅 バーナード組織論の性格についての批判的考察

〔研究ノート〕

- 松谷 勉 アメリカにおける普通株投資政策について (1)

〔資料紹介〕

- 三上 宏美 社会的費用論の一考察—W. ミハルスキー理論—

〔書評〕

- 久保田音二郎 高柳 龍芳著『監査報告書論—ドイツ法定監査を主題として—』(千倉書房, 1967年)
 山榭 忠恕 清水 宗一著『資産原価配分論』(森山書店, 1967年)
 内川 菊義 酒井 文雄著『再評価剰余金論—戦後日本の資本再評価—』(国元書房, 1968年)

◆ 第13巻第4・5合併号 (1968年12月)

川元英二教授古稀記念特輯

献辞 商学部長 廣田司朗

〔論説〕

- 金子 卓治 保険資本論の立場
 水島 一也 協同組合保険の性格—組合員自治制をめぐる—
 星野 良樹 生命保険会社の投資原則と資産評価—J. B. H. ペグラー氏の所説を中心に—
 亀井 利明 英国保険行政の変貌
 木村 滋 外国為替の意義, 起源とメカニズム
 安田 信一 現金と金利体系, 経済活動

- 山崎 紀男 マーケティングにおける販売促進
 大橋 昭一 西ドイツの職員 (Angestellte)
 高堂 俊彌 人事管理発展史研究—第Ⅱ部 人事管理の本質と機能—
 中辻 卯一 機械化会計の性格
 長砂 實 「社会主義的必要生産物および剰余生産物の生産の法則」について
 川元英二教授 略歴・著作目録

◆ 第13巻第6号 (1969年2月)

柴田銀二郎教授古稀記念特輯

献辞 商学部長 廣田司朗

〔論 説〕

- 佐々木誠治 兵庫開港の顛末
 西向 嘉昭 ラテン・アメリカ経済統合の基本問題—域内分業原理をめぐって—
 植野 郁太 「財務比率分析」ノート
 富山 忠三 戦略的意思決定の思考過程—マーケティング管理によせて—
 宮下 孝吉 十六世紀イスパニアにおける価格革命と財政
 小西 善雄 商品学の研究方向—インターディスプリナリー・アプローチ—

柴田銀二郎教授 略歴・著作目録

〔学会消息〕

◆ 第14巻第1号 (1969年4月)

〔論 説〕

- 清水 宗一 減価償却財務についての一考察
 稲村 毅 サイモン意志決定論の特質 (1)

〔研究ノート〕

酒井 文雄 租税の会計学的の一考察—ベートンの所説を中心として—

〔資 料〕

亀井 利明 共同海損と海上保険 (その一)

〔資料紹介〕

富山 忠三 アメリカの大学における教育諸問題

◆ 第14巻第2号 (1969年6月)

〔論 説〕

- 生田 靖 米価水準と食糧管理制度
 稲村 毅 サイモン意志決定論の特質 (2)

〔研究ノート〕

中辻 卯一 意思決定と経営情報 (1)

〔資 料〕

亀井 利明 共同海損と海上保険 (2)

〔書 評〕

飯野 春樹 『アルバースの経営管理論』 Henry H. Albers, *Principles of Management: A Modern Approach*,

3rd edition, John Willey & Sons, Inc, 1969.

◆ 第14巻第3号 (1969年8月)

〔論説〕

- 末政 芳信 資本利益率分析を併用した利益図表 (1) —C・V・P・I分析への1アプローチ—
 生田 靖 消費者協同組合の論理と商業資本
 保田 芳昭 「消費者中心志向」についての批判的考察

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 意思決定と経営情報 (2)

◆ 第14巻第4号 (1969年10月)

〔論説〕

- 末政 芳信 資本利益率分析を併用した利益図表 (2) —C・V・P・I分析への1アプローチ—
 宮下 孝吉 十七世紀におけるイスパニアの経済的衰微
 松尾 聿正 会計における公正性—DR. Scott教授の所説を中心として—

〔資料〕

- 東海林 滋 現代世界海運の構造

◆ 第14巻第5号 (1969年12月)

〔論説〕

- 生田 靖 協同組合における労働問題 (1)
 —協同組合労働者の経営参加, 利益分配, 労働組合運動をめぐって—
 三上 宏美 運輸・通信経済論の対象
 —G. レーバイン, H. ワーゲナの所説に寄せて—

〔資料紹介〕

- 亀井 利明 アメリカの保険論と保険学界
 富山 忠三 経営診断学と大学教育との接点—経営診断学の成立と課題を中心として—

◆ 第14巻第6号 (1970年2月)

〔論説〕

- 来住 哲二 為替手形と船積書類
 岡部 孝好 ペイトンの時価償却論 (上)

〔調査〕

- 保田 芳昭 サンドル製造業の実態—とくに販売と取引並びに競争の実態を中心として—

〔資料〕

- 飯野 春樹 バーナードに関する若干の資料

〔学会消息〕

◆ 第15巻第1号 (1970年4月)

〔論説〕

- 富山 忠三 マーケティング意識と商業英語

岡部 孝好 ペイトンの時価償却論 (下)

〔研究ノート〕

末政 芳信 損益分岐点分析の発展過程—アメリカを中心として—

〔資料紹介〕

亀井 利明 アメリカの自動車保険証券について

〔資料〕

松尾 聿正 会計における有用性

◆ 第15巻第2号 (1970年6月)

〔論説〕

安田 信一 貨幣数量, 利子と経済成長

植野 郁太 資金計算書の生成発展とその作成方法について (1)

高柳 龍芳 ドイツにおける管理統制の諸概念について (上)

〔資料〕

末政 芳信 設備投資計画評価のための会計分析方法

〔書評〕

市原 季一 大橋昭一著『ドイツ経営共同体論史』(中央経済社, 1966年)

◆ 第15巻第3・4号 (1970年10月)

〔論説〕

植野 郁太 資金計算書の生成発展とその作成方法について (II)

高柳 龍芳 ドイツにおける管理統制の諸概念について (下)

生田 靖 協同組合における労働問題 (2)

—協同組合労働者の経営参加, 利益分配, 労働組合運動をめぐって—

松尾 聿正 会計上の客観性

山本 義徳 システムズ・アプローチの概念的検討

〔書評〕

小野 一郎 長砂 實著『社会主義経済法則論』(青木書店, 1969年)

◆ 第15巻第5・6号 (1971年2月)

宮下孝吉教授古稀記念特輯

献辞 商学部長 寺尾晃洋

〔論説〕

山瀬 善一 伯ギユイ・ドゥ・ダンピエールと伯財政

豊原 治郎 カナダ経済史学とProf. Harold Adams Innis

植野 郁太 企業収益力の実数分析

富山 忠三 古代文明における経理思想と会計教育

清水 宗一 物価変動下の設備資産原価の配分

亀井 利明 交通事故と労災事故をめぐる保険関係

飯野 春樹 組織構造の形成について

小西 善雄 マネジエリアル商品学の本質

〔研究ノート〕

東海林 滋 最近の定期船運賃論について

宮下孝吉教授 略歴・著作目録

〔学会消息〕

◆ 第16巻第1号 (1971年4月)

〔論説〕

清水 宗一 秘密利益留保について

〔研究ノート〕

生田 靖 出稼山村の経済構造(上) —兵庫県美方郡温泉町における実態—

〔資料紹介〕

富山 忠三 大学における広告教育—その実態と分析—

〔資料〕

亀井 利明 公害の補償と保険

〔書評〕

保田 芳昭 白髭 武著『現代マーケティング総論』(日本評論社, 1970年)

◆ 第16巻第2・3号 (1971年8月)

富山 忠三教授古稀記念特集

献辞 商学部長 寺尾晃洋

〔論説〕

大塚 俊郎 EDPシステム監査におけるサンプリング法の一考察

土屋 好重 大衆的顧客の観点に立つ奉仕

本庄 良邦 産業教育の基本問題

植野 郁太 会計的教義としての一般原則

清水 宗一 原価配分理論のゆくえ

末政 芳信 利益図表の課題

小西 善雄 商品に関する商品学上の基本事項

中辻 卯一 経営情報システム論序説(Ⅰ)—MISへのアプローチ—

稲村 毅 企業目的と経営者行動—「伝統的企業理論」批判をめぐって—

岡部 孝好 ペイトンの利益計算論の特質

松尾 聿正 会計公準の意義

山本 義徳 システムズ・アプローチの基盤

富山忠三教授 略歴・著作目録

◆ 第16巻第4・5号 (1971年12月)

今西庄次郎教授古稀記念特集

献辞 商学部長 寺尾晃洋

〔論説〕

大山敷太郎 江戸市中幕末の潤沢融通の議—老中・町奉行, 貿易開始に伴う江戸市中の頹廢・沈滞を憂う—

河野 稔 国家社会政策における主体の特質

- 山東茂一郎 社会システムとしての流通経路
 田杉 競 企業経営におけるシステムのアプローチ
 富山 忠三 経営監査の教科的性格(2) —マーケティングに寄せて—
 長砂 實 社会主義のもとでの経済的欲望・利害・関心・刺激・刺激化
 生田 靖 農産物マーケティングの先駆的形態
 —高知県におけるある協同組合連合会の販売機能を中心に—
 松谷 勉 投資管理における諸問題—投資管理と投資分析(1)—
 横田 茂 第二次大戦下アメリカ合衆国の戦時行政機構の編成過程(1)
 今西庄次郎教授 略歴・著作目録

◆ 第16巻第6号 (1972年2月)

〔研究ノート〕

- 生田 靖 出稼山村の経済構造(下) —兵庫県美方郡温泉町における実態—
 東海林 滋 南北海運論争の焦点をめぐって

〔新刊紹介〕

- 安田 信一 L. B. イーガー著 徳永清行監訳, 樋口武・瀬尾速雄訳『国際通貨機構』(ミネルヴァ書房, 1971年)

〔資料〕

- 飯野 春樹 バーナード著述一覧

〔学会消息〕

◆ 第17巻第1号 (1972年4月)

〔論説〕

- 加藤 義忠 商業資本の『資本論』体系における位置と商業資本の本質について

〔研究ノート〕

- 岡部 孝好 会計における予測可能性の規準—カレント・コストの情報内容明確化の可能性—

〔資料〕

- 亀井 利明 海上公害について

◆ 第17巻第2号 (1972年8月)

〔論説〕

- 稲村 毅 組織論的目的論について—経営多目的論の一考察—
 加藤 義忠 商業資本の自立化の必然性について
 清水 宗一 内部財務についての—考察

◆ 第17巻第3号 (1972年9月)

〔論説〕

- 加藤 義忠 商業利潤の根拠について
 清水 宗一 減価償却財務と他人財務
 長砂 實 「発達した社会主義社会」論について

◆ 第17巻第4号 (1972年10月)

〔論 説〕

- 長砂 實 社会的生産の第1部門と第2部門の相互関係について
—社会主義経済の現段階におけるその特質—
- 永沼 博道 低地地方における縮絨水車と紡ぎ車の普及について
—技術変化と需要構造の関係の一側面—

〔資料紹介〕

- 小西 善雄 商品分類の方法

〔資 料〕

- 中辻 卯一 COBOL (テーブル関係) 資料

◆ 第17巻第5・6号 (1973年2月)

〔論 説〕

- 飯野 春樹 『経営者の役割』執筆過程における協働体系と組織の概念について
- 東海林 滋 定期船政策における国際調整の展開
- 中辻 卯一 経営情報システムの調査, 設計—経営情報システム論序説 (II)—
- 松尾 聿正 財務会計の枠組 (I)—APBステイトメント第4号を中心として—

〔研究ノート〕

- 稲村 毅 馬場克三教授における「意識性」の問題
—個別資本説における「経営技術論批判」の検討 (I)—

〔学会消息〕

◆ 第18巻第1号 (1973年4月)

〔論 説〕

- 岡部 孝好 意味論的目的適合性と語用論的目的適合性—外部会計における最適測度の選択問題—
- 松尾 聿正 財務会計の枠組 (II)—APBステイトメント第4号を中心として—
- 張 鶴植 韓国の近代化過程における諸問題—経済的側面からの検討—

〔資 料〕

- 飯野 春樹 回想のバーナード (I)

◆ 第18巻第2号 (1973年6月)

〔論 説〕

- 木田 和雄 ラテン・アメリカにおける原住民社会の発展過程
- 坂井 昭夫 近代経済学の財政論に見る新しい傾向
—PPBS論, 公共経済学, 財政負担国際的再配分基準論の三位一体— (1)

〔研究ノート〕

- 生田 靖 消費者協同組合の成立過程—イギリス初期資本主義の一駒—

〔資 料〕

- 飯野 春樹 回想のバーナード (II)

◆ 第18巻第3号 (1973年8月)

〔論説〕

- 木村 滋 リスク・アバーションと外国為替取引
 長砂 實 ふたたび「純粹社会主義」論について—副島教授の反論に答える—
 廣田 俊郎 環境汚染とその最適制御について

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 日本商業の統計的分析—『商業統計調査』を中心として—

〔資料〕

- 飯野 春樹 回想のバーナード (Ⅲ)

◆ 第18巻第4・5・6合併号 (1974年2月)

商学部創設25周年記念

〔論説〕

- 飯野 春樹 バーナードにおける個人主義と全体主義
 生田 靖 独占段階と協同組合—消費者協同組合の存立条件と存立基盤について—
 今西庄次郎 株式投資の意義—その行動の範囲と特色—
 加藤 義忠 純粹流通費用にたいする利潤の根拠—宇野弘蔵氏の所説の検討—
 富山 忠三 マーケティングにおける価格決定の基礎理論—オクセンフェルト説を中心として—
 寺尾 晃洋 大都市近郊の水道事業
 永吉 基治 アメリカにおける火災保険事業の生成
 松尾 聿正 会計理論の特質

〔学会消息〕

◆ 第19巻第1号 (1974年4月)

故 高尾忠男教授追悼号

- 追悼の辞 商学部長 木村滋
 関西学院大学名誉教授 青木倫太郎

〔論説〕

- 増谷 裕久 税法上の国庫補助金をめぐる会計問題
 —特に圧縮記帳制度と「その他の資本剰余金」を中心として—
 竹内 貢 株式の得喪に関する経理処理等の調整, 統一について
 植野 郁太 二つの会計思考
 岡部 孝好 機会損益と保有損益—エドワーズ=ベルの利益2分割論をめぐる若干の問題—
 酒井 文雄 会計における三つの基本理念
 清水 宗一 引当金による財務
 末政 芳信 実価法適用の諸問題
 中辻 卯一 経営機械化論序説 (I) —その基本的性格について—
 山口吉兵衛 区分的関数の損益分岐点について
 生田 靖 わが国の農業協同組合における労働問題に関する若干のコメント

故 高尾忠男教授 年譜・著作目録

◆ 第19卷第2号 (1974年6月)

〔論 説〕

- 稲村 毅 管理と生産関係—ソヴェト生産管理論争を中心として—
 加藤 義忠 商品流通過程の二側面性 (上)

〔資 料〕

- 飯野 春樹 バーナード稿「企業経営における全体主義と個人主義」

◆ 第19卷第3・4号 (1974年10月)

山崎紀男教授古稀記念特集

献辞 商学部長 東海林滋

〔論 文〕

- 荒川 祐吉 コンビニエンス・ストア—複合的小売組織体の特性と展望—
 山東茂一郎 垂直的価格拘束に代わるもの
 竹林庄太郎 梅岩と蟠桃の商業論
 豊原 治郎 セントローレンス河商品流通史序説
 飯野 春樹 バーナードにおける責任と権威について
 加藤 義忠 商業資本の独自性と商業利潤—山口重克氏の所説の検討—
 小西 善雄 完全商品と不完全商品—Complete and Incomplete Merchandise—
 中辻 卯一 事務組織からMISへの発展
 永沼 博道 オスマン・トルコにおけるヨーロッパ商人活動への前提
 中間 敬弼 'agree with something' に関する一考察
 永吉 基治 19世紀中葉のアメリカ火災保険事業
 廣田 俊郎 固定費および変動費を考慮に入れた倉庫立地モデルの展開
 松尾 聿正 会計理論形成に関する一考察—On the Formation of Accounting Theory—
 三上 宏美 道路経済論覚書
 保田 芳昭 『マーケティング経済論』をめぐって—1つの覚え書—
 山本 義徳 ミックス概念の形成とマーケティング・システム
 横田 茂 戦時アメリカの産業動員組織と統制技術—第二次大戦下の考察—
 吉信 肅 外国貿易の必然性と作用に関する諸問題

山崎紀男教授 略歴・著作目録

◆ 第19卷第5・6号 (1975年2月)

〔論 文〕

- 飯野 春樹 バーナードの責任優先説について
 岡部 孝好 経済学的利益と稼得の概念
 長砂 實 社会主義のもとでの労働力範疇 (I)
 永沼 博道 近世ヨーロッパ国際商業における保護と統制—イギリスのレヴァント貿易の事例—
 永吉 基治 19世紀後半におけるアメリカ火災保険事業
 廣田 俊郎 コンピュータによる販売予測手法について
 山本 義徳 マーケティング・ミックスと費用—成果—机上の自由競争—

〔研究ノート〕

中辻 卯一 経営志向型MIS—J. Kanterの研究を中心として—

〔資料〕

東海林 滋 デイーキン著「海運同盟」

〔学会消息〕

◆ 第20巻第1号 (1975年4月)

〔論文〕

- 生田 靖 協同組合の組織的側面の検討
 長砂 實 社会主義のもとでの労働力範疇 (Ⅱ)
 廣田 俊郎 離散型最大原理による非線型輸送問題解法について

〔資料〕

飯野 春樹 チェスター・バーナード稿, 桜井信行・坂井正廣・吉原正彦共訳「ビジネス・モラルの基本的状況」

◆ 第20巻第2号 (1975年6月)

〔論文〕

- 飯野 春樹 バーナード対アーウィック—一つの組織原則をめぐって—
 加藤 義忠 商品流通過程の二側面性 (下)
 坂井 昭夫 公共経済学によるPPBS論の包摂—公共経済学批判の一環として—

〔研究ノート〕

- 生田 靖 青果物の規格等級と包装 (1) —とくに野菜の場合の実態と問題点—
 高柳 龍芳 監査役監査制度の改革について (上)

◆ 第20巻第3・4・5号 (1975年11月)

創立九十周年記念特輯

- 序文 学長 明石三郎
 序 商学部長 高堂俊彌

〔論文〕

- 飯野 春樹 バーナードの管理とリーダーシップの理論
 高堂 俊彌 フレックスタイム制の概要と若干の問題点
 廣田 俊郎 企業環境を考慮した組織化と政策的意思決定手法—とくに自然環境をめぐって—
 高柳 龍芳 職業原則にみられる会計監査人の独立性について
 松尾 聿正 会計目的の識別
 今西庄次郎 投資物件としての株式
 加藤 義忠 独占資本主義と商業資本の存立根拠
 中間 敬弼 'the amount due us' のdueに関する一考察
 長砂 實 「マルクスの過渡期」・「レーニンの過渡期」論批判
 坂井 昭夫 シビル・ミニマム論の特質ならびに公共経済学によるその包摂の方向性めぐって—
 一公共経済学批判の一環として—
 寺尾 晃洋 水道事業における加入金制度

安田 信一 経済の転換と産業構造, 財政・金融政策

◆ 第20巻第6号 (1976年2月)

〔論文〕

- 今西庄次郎 株式投資の適格者
 坂井 昭夫 「ライフサイクル計画」批判
 松谷 勉 “個人株主づくり”と現代証券市場

〔資料〕

- 高柳 龍芳 ディスクロージャーと法定監査制度に関する調査

〔学会消息〕

◆ 第21巻第1号 (1976年4月)

〔論文〕

- 飯野 春樹 公式組織の基本要素をめぐって
 加藤 義忠 商業資本の排除の原理
 横田 茂 戦時財政危機と節約運動

〔研究ノート〕

- 高柳 龍芳 監査役監査制度の改革について (下)

〔書評〕

- 廣田 俊郎 Kenneth J. Arrow, *The Limits of Organization*
 —W: W. Norton & Company, Inc., New York, 1974—

◆ 第21巻第2号 (1976年6月)

〔論文〕

- 岡部 孝好 米国における1930年前後の取替原価会計論
 加藤 義忠 直接販売と系列化
 横田 茂 戦時国家独占資本主義と連邦行財政制度の変貌

〔研究ノート〕

- 生田 靖 青果物の規格と包装 (II)

◆ 第21巻第3号 (1976年8月)

〔論文〕

- 鍛冶 邦雄 1870—1913年における英国出移民の一研究
 加藤 義忠 「可変的」流通費用にたいする利潤分与とその補填 (1)
 松谷 勉 アメリカ投資論についての一考察 (I) —市場機会見地と競争市場見地—

〔研究ノート〕

- 岡部 孝好 1株当たり利益 (EPS) の測定について

◆ 第21巻第4号 (1976年10月)

〔論文〕

- 生田 靖 食糧問題としての農業問題—ひとつの試論—

- 大橋 昭一 東ドイツにおける経済の内包的発展について
 松谷 勉 ジェサップの新しい投資論について—アメリカ投資論についての一考察（Ⅱ）—
 【資料】
 飯野春樹監訳 チェスター・バーナード稿, 佐々木恒男訳「現代における先見の方法とその限界」

◆ 第21巻第5号（1976年12月）

【論文】

- 加藤 義忠 商業資本論の論理的位罫
 中間 敬弼 理由を表わす 'due to' に関する一考察
 松尾 聿正 会計責任の基本的理念—P. バードの所説を中心として—

【資料 翻訳】

- 大橋 昭一 ドイツ民主共和国の統一講義要項『社会主義政治経済学』

◆ 第21巻第6号（1977年2月）

【論文】

- 鍛冶 邦雄 1920年代における中国人の「満州移住」について
 馬淵 透 外国為替需給と直接的為替裁定

【研究ノート】

- 東海林 滋 定期船運賃の実証分析

【資料】

- 飯野春樹監訳 チェスター・バーナード稿, 吉原正彦訳「社会進歩にみる不変のジレンマ」

【学会消息】

◆ 第22巻第1号（1977年4月）

【論文】

- 生田 靖 農産物市場と農産物取扱資本
 永沼 博道 16世紀香料貿易における海洋ルートと隊商ルート
 松尾 聿正 会計責任：その遂行形態と本質

【研究ノート】

- 松谷 勉 アメリカ投資論の特徴—分析論型投資論と管理論型投資論（Ⅰ）—

【書評】

- 森下二次也 保田芳昭著『マーケティング論研究序説』（ミネルヴァ書房, 1976年）

◆ 第22巻第2号（1977年6月）

【論文】

- 大橋 昭一 東ドイツにおける管理の科学の生成

【研究ノート】

- 加藤 義忠 科学的マーケティング論の体系化の課題
 —保田芳昭著『マーケティング論研究序説』を読んだの覚書—
 木村 滋 IMFの多国間為替相場モデルと実効為替相場〔Ⅰ〕

〔書評〕

- 石田 和夫 角谷登志雄・高堂俊彌編『転換期の企業労務』（ミネルヴァ書房，1977年）
 小谷 義次 坂井昭夫著『国際財政論』（有斐閣，1976年）

◆ 第22巻第3・4号（1977年10月）

山口吉兵衛教授古稀記念特集

献辞 商学部長 亀井利明

- 井上 昭一 アメリカ独占確立期における自動車企業の生誕とその発展〔1〕
 大橋 昭一 社会主義経営における社会的計画化の生成—東ドイツにおける動向を中心として—
 岡部 孝好 所有主価値とカレント・コスト会計
 中辻 卯一 情報化社会の展望
 永沼 博道 16世紀におけるフランス・トルコ通商関係
 中間 敬次 ‘Based on...we...’ の構造に関する一考察
 廣田 俊郎 企業・環境システムの組織化について
 藤田 彰久 生産活動における余裕の構成と意味について—人間に関する余裕を中心として—
 松尾 聿正 会計責任論の一形態—トゥルーブラッド報告書を中心として—
 安田 信一 インフレと価格決定の多様性
 吉信 肅 リカードウ外国貿易論をめぐる若干の諸問題

山口吉兵衛教授 略歴・著作目録

◆ 第22巻第5号（1977年12月）

〔論文〕

- 井上 昭一 アメリカ独占確立期における自動車企業の生誕とその発展〔2〕
 鍛冶 邦雄 大上末廣の満州経済論
 永沼 博道 16世紀地中海地方における人口成長と穀物危機
 廣田 俊郎 組織による資源指向型資源配分手法

〔研究ノート〕

- 木村 滋 IMFの多国間為替相場モデルと実効為替相場〔Ⅱ〕

〔書評〕

- 渡辺 公観 加藤義忠著『商業資本論の研究』（ミネルヴァ書房，1977年）

〔資料〕

- 飯野春樹監訳 チェスター・バーナード稿，岡田和秀・高澤十四久訳「技能，知識および判断」

◆ 第22巻第6号（1978年2月）

〔論文〕

- 井上 昭一 アメリカ独占確立期における自動車企業の生誕とその発展〔3〕
 加藤 義忠 独占と流通（上）
 高尾 裕二 コマンダー理論の再検討
 横田 茂 合衆国産業動員体制下の生産の集積—その一般的傾向—

〔書評〕

- 石井隆一郎 木村 滋著『外国為替論』（有斐閣，1977年）

〔資料〕

飯野 春樹訳 チェスター・バーナード稿『医業における社会的要因』

〔学会消息〕

◆ 第23巻第1号 (1978年4月)

〔論文〕

馬淵 透 拘束性預金と実質金利

加藤 義忠 独占と流通 (下)

〔研究ノート〕

松谷 勉 ヨルダンの「投資論」—分析論型投資論と管理論型投資論 (II)—

〔資料〕

飯野 春樹監訳 チェスター・バーナード稿, 南龍久訳『産業研究のなされるべき組織の諸側面』

◆ 第23巻第2号 (1978年6月)

〔論文〕

杉野 幹夫 総合商社の存立基盤について—商社斜陽論を中心に—

〔研究ノート〕

廣田 俊郎 予測手法を用いた原価管理

〔書評〕

大橋 昭一 川崎文治・橘博・吉田和夫編著『現代資本主義と経営学説』
(ミネルヴァ書房, 1978年)

加藤 勝康 飯野春樹著『バーナード研究—その組織と管理の理論—』(文眞堂, 1978年)

◆ 第23巻第3・4号 (1978年10月)

〔論文〕

松尾 聿正 貨幣価値変動と会計責任

馬淵 透 マッハルプ外国為替理論の研究 (1) —為替需給分析のための基礎理論—

安田 信一 安定成長と銀行

〔研究ノート〕

加藤 義忠 独占資本主義の流過程—ファビウンケ他著『現代資本主義の商業構造』の検討—

中辻 卯一 経営志向型MIS (II) —J. カンターの研究を中心として—

〔資料〕

飯野 春樹 チェスター・バーナード稿「リーダーシップと法」

高尾 裕二 改訂プラン・コンタブルの財務諸表様式

高柳 龍芳 西独における監査原則

◆ 第23巻第5号 (1978年12月)

〔論文〕

岡部 孝好 会計における恒常評価と諸方法

加藤 義忠 独占的商業資本の理論 (上)

杉野 幹夫 国際マーケティングと国際貿易

廣田 俊郎 企業の情報戦略と状況要因との関連について—企業モデルの利用をめぐる—

◆ 第23巻第6号 (1979年2月)

〔論文〕

小西 善雄 プレハブ住宅の商品学的一考察

廣田 俊郎 情報・資源と組織；序論的考察

加藤 義忠 独占的商業資本の理論 (下)

〔研究ノート〕

東海林 滋 定期船サービスの需要曲線と品目別差別運賃

高柳 龍芳 各国における監査報告書の歴史とその意義 (上)

〔書評〕

橋 博 石田和夫・大橋昭一編著『現代技術と企業労働』（ミネルヴァ書房，1978年）

〔学会消息〕

◆ 第24巻第1号 (1979年4月)

〔論文〕

岡部 孝好 物的資本維持会計と物量利益測度

廣田 俊郎 経営情報システム展開と組織，タスク，人間

〔研究ノート〕

高柳 龍芳 各国における監査報告書の歴史とその意義 (下)

◆ 第24巻第2号 (1979年6月)

〔論文〕

廣田 俊郎 組織の階層構造についての一考察—管理生産関数を用いた分析—

〔研究ノート〕

大橋 昭一 カトリック社会論と経営参加論 (I)

加藤 義忠 ヒルファディングの流通経済論の検討

◆ 第24巻第3号 (1979年8月)

〔論文〕

井上 昭一 プライス・リーダーシップ〔1〕—アメリカ自動車工業を中心に—

高尾 裕二 ロウレによる『付加価値単一税』の提唱

馬淵 透 預金拘束の乗数理論

〔研究ノート〕

廣田 俊郎 内部組織における行動意欲について

〔書評〕

近藤 恭正 末政芳信著『利益図表の展開—短期利益管理目的を中心として—』（国元書房，1979年）

◆ 第24巻第4号 (1979年10月)

〔論文〕

井上 昭一 プライス・リーダーシップ〔2〕—アメリカ自動車工業を中心に—

松尾 聿正 FASBの会計目的

〔研究ノート〕

岡部 孝好 購買力損益の実現をめぐる

中辻 卯一 MISの技術的基礎 (I) —経営志向型MIS (III) —

◆ 第24巻第5号 (1979年12月)

〔論文〕

高柳 龍芳 監査報告基準の問題点

寺尾 晃洋 水道事業と公営原則

〔研究ノート〕

松尾 聿正 環境情報の開示と会計責任 (I)

〔書評〕

川崎 文治 大橋昭一・奥田幸助・奥林康司著『経営参加の思想』(有斐閣新書, 1979年)

◆ 第24巻第6号 (1980年2月)

〔論文〕

横田 茂 レーニンの財政改革論にかんする一考察

〔研究ノート〕

松尾 聿正 環境情報の開示と会計責任 (II)

〔資料〕

井上 昭一 統計にみるアメリカ自動車工業—MVMA, *Facts & Figures '79*を中心にして—

〔学会消息〕

◆ 第25巻第1号 (1980年4月)

〔論文〕

廣田 俊郎 経営情報システム変革戦略のコンティンジェンシー・モデル

〔研究ノート〕

井上 昭一 組織論の発展—E・G・コッホの所論を中心に—

末政 芳信 シェアー教授の損益分岐点分析論

〔資料〕

東海林 滋 欧米における港湾経済の研究

◆ 第25巻第2号 (1980年6月)

〔論文〕

岡部 孝好 購買力損益の認識と貨幣項目の評価

中間 敬式 'As requested, we...' に関する一考察

廣田 俊郎 技術革新についての経営学的考察—複写機の新製品開発についての実証研究—

安田 信一 スタグフレーションと自由競争

〔書評〕

木元進一郎 高堂俊彌・島弘編著『現代「合理化」と労務管理』(ミネルヴァ書房, 1980年)

◆ 第25卷第3号 (1980年8月)

〔論文〕

- 鍛冶 邦雄 『資本論』第1巻における移民・植民地の記述について
 馬淵 透 マッハルプ外国為替理論の研究(2) —財貿易に関する諸弾力性(短期分析)—

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 ハイリックスたちの流通独占論の検討—『独占的商業の理論』第2章について—
 中辻 卯一 MISの技術的基礎(Ⅱ)—経営志向型MIS(Ⅳ)—

◆ 第25卷第4号 (1980年10月)

〔論文〕

- 鍛冶 邦雄 サミール・アミンの「低開発」論
 高柳 龍芳 監査への社会的要請について
 松尾 聿正 会計における行為主義的接近法

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 経営管理と管理過程に対するMISの影響—経営志向型MIS(V)—

◆ 第25卷第5号 (1980年12月)

〔論文〕

- 池島 正興 「アコード」・ビルズ・オンリー政策・国債市場の「自由化」
 鍛冶 邦雄 S・アミンの「史的唯物論」
 高柳 龍芳 ドイツの監査役監査と決算監査士監査の関係

◆ 第25卷第6号 (1981年2月)

〔論文〕

- 岡部 孝好 行列簿記と数量的会計システム—多重会計測定 of 構造—
 高柳 龍芳 制度会計の課題—会計基準一元化への指向—
 廣田 俊郎 新製品発売行動の規定要因

〔研究ノート〕

- 坂井 昭夫 最近の軍備拡張路線に関する覚え書き

〔学会消息〕

◆ 第26卷第1号 (1981年4月)

〔論文〕

- 池島 正興 巨大商業銀行と国債投機—合衆国1950年代における巨大商業銀行の資本蓄積の一考察—
 横田 茂 危機における予算制度改革思想

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 P. ホフマンたちの流通独占論の検討(Ⅰ)
 杉野 幹夫 1950年代の商社強化政策と日本貿易会の活動—『日本貿易会三十年史』を中心に—

◆ 第26巻第2号 (1981年6月)

〔論文〕

坂井 昭夫 「防衛計画の大綱」に関する一考察

〔研究ノート〕

加藤 義忠 P. ホフマンたちの流通独占論の検討 (II)

〔書評〕

藤田 整 長砂 實・芦田文夫編著『ソ連社会主義論—現状と展望—』(大月書店, 1981年)

前川 恭一 大橋昭一・長砂 實編著『経済民主主義と経営参加』(ミネルヴァ書房, 1981年)

◆ 第26巻第3号 (1981年8月)

〔論文〕

小西 善雄 商品の品質と価格—ルームエアコンを一例として—

坂井 昭夫 日本の経済成長方式と経済摩擦—今日の軍拡傾向の経済的背景—

〔研究ノート〕

中辻 卯一 MISにおけるマネジメントのかかわりあいと影響—経営志向型MIS (VI) —

松尾 聿正 連結財務諸表作成会社における研究開発費の開示

—連結財務諸表, 個別財務諸表および実態調査の対比に関する業種別分析を中心として—

◆ 第26巻第4号 (1981年10月)

〔論文〕

坂井 昭夫 「総合安全保障論」の形成とその本質

中間 敬弼 英語商業通信文のComplimentary Closeに関する一考察

廣田 俊郎 経営環境, 経営資源および経営戦略—普通紙複写機 (PPC) 産業のケースによる検討—

馬淵 透 マッハルプ外国為替理論の研究 (3)

—資本移動・一方的移転および用役に関する受払 (その1) —

横田 茂 国家独占資本主義と予算制度改革論

◆ 第26巻第5号 (1981年12月)

〔論文〕

加藤 義忠 独占資本主義下の流通過程の基本的性格—森下二次也氏の配給概念の検討—

中間 敬弼 Complimentary Closeの用法について

廣田 俊郎 成長産業における経営戦略—組織類型

藤田 彰久 生産効率化への若干の考察—トヨタ生産方式を中心に (1) —

松尾 聿正 会計情報の特性

◆ 第26巻第6号 (1982年2月)

〔論文〕

加藤 義忠 商業資本の自立化の原理

坂井 昭夫 アメリカにおける軍事技術開発振興政策の史的展開

馬淵 透 金利裁定理論の微調整

〔研究ノート〕

植野 郁太 商法計算規定の改正について

〔学会消息〕

◆ 第27巻第1号 (1982年4月)

〔論文〕

生田 靖 農民的自由市場の形成と展開—京都における野市の成立史から—

田村 安興

田中 茂和 対内直接投資, 市場構造, 市場成果

〔研究ノート〕

加藤 義忠 堺市商業構造の一考察

〔資料〕

井上 昭一 ジェネラル・モーターズ会社の原則と方針

◆ 第27巻第2号 (1982年6月)

〔論文〕

加藤 義忠 独占資本主義下の流過程における法則性—阿部真也氏の所説の検討—

廣田 俊郎 コンピュータ化経営計画システム

〔資料〕

井上 昭一 ジェネラル・モーターズ会社の創立者—ウィリアム・C・デュラント—

〔書評〕

今井 俊一 井上昭一著『GMの研究—アメリカ自動車経営史—』(ミネルヴァ書房, 1982年)

長砂 實 角谷登志雄・牟礼早苗編『企業経営と民主的変革』(ミネルヴァ書房, 1982年, 『講座・経営経済学9』)

◆ 第27巻第3号 (1982年8月)

〔論文〕

岡部 孝好 会計上の選択と数量的測定

陶山 計介 ソ連における消費財流通システムと商・工関係

田中 茂和 多国籍企業と競争秩序: その理論と実証

廣田 俊郎 経営情報システム設計, 利用, 展開の規定要因

横田 茂 PPBSとベトナム戦争

〔追悼〕 名誉教授故今西庄次郎先生

追悼の辞 商学部長・商学会会長 中辻卯一

今西先生の学問的業績 松谷 勉

◆ 第27巻第4号 (1982年10月)

〔論文〕

植野 郁太 企業会計原則の一部修正をめぐって

陶山 計介 生産財の「合理的」流通と企業連関

馬淵 透 国際金本位制下の外国為替需給曲線について

〔研究ノート〕

加藤 義忠 現代流通経済論の基礎視角（Ⅰ）—森下二次世氏の所説について—

◆ 第27巻第5号（1982年12月）

〔論文〕

藤田 彰久 生産効率化への若干の考察—トヨタ生産方式を中心に（2）—

横田 茂 アメリカ予算制度改革史序説

〔研究ノート〕

加藤 義忠 現代流通経済論の基礎視角（Ⅱ）—森下二次世氏の所説について—

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車業界の興亡—1903～1924年に限定して—

◆ 第27巻第6号（1983年2月）

〔論文〕

池島 正興 J. M. ブキャナンの公債論の研究

田中 茂和 日本における対内直接投資：産業組織論的考察

馬淵 透 従量関税に関する外国為替理論

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業におけるリーダーシップ—1903～1924年に限定して—

〔学会消息〕

◆ 第28巻第1号（1983年4月）

故 安田信一教授追悼号

〔追悼文〕

追悼の辞 商学部長・商学会会長 高柳龍芳

〔論文〕

田中 金司 ヴィクセル→ハイエク→M. フリードマン—前進のための回顧—

小寺武四郎 動態論としての金融論

渡辺 太郎 変動相場制と保護主義

木村 滋 鞍点、完全予見、為替レート

本多 新平 金融イノベーションとアメリカ商業銀行

尾崎 康夫 金融的な諸施策の立案・実施がもたらす諸効果

神保 一郎 ケインジアン均衡と新古典派均衡

東海林 滋 カボタージュと船の国籍—海運政策の法制的側面—

清水 宗一 資産的費用項目の償却の成立

馬淵 透 マッハルプ外国為替理論の研究（4）

—資本移動・一方的移転および用役に関する受払（その2）—

〔調査資料〕

小谷 正守 宮崎市の小売商業構造—環境・構造・活動成果のフレームを中心として—

〔書評〕

矢野 恵二 Jagdeep S. Bhandari, *Exchange Rate Determination and Adjustment*, New York, Praeger

Publishers, 1982.

楠 貞義 前田芳人・小川雄平著『国際経済の新展開』

追悼の辞 寺尾晃洋

弔哭 住友修史室囑託 中瀬正雄

故 安田信一教授 年譜・著作目録

◆ 第28巻第2号 (1983年6月)

〔論文〕

羽原 敬二 航空事業の発達と航空保険の生成—第2次世界大戦以前—

藤田 彰久 生産効率化への若干の考察—トヨタ生産方式を中心に(3)—

〔資料〕

井上 昭一 坐り込みストライキ

〔書評〕

横田 綏子 吉信 爾編『貿易論を学ぶ』(有斐閣, 1982年)

◆ 第28巻第3号 (1983年8月)

〔論文〕

岡部 孝好 経営労働市場におけるシグナリングと会計上の業績情報

陶山 計介 ハワード消費者行動モデルと「行動科学」的展開

田中 茂和 産業保護と雇用に関する一般均衡独占モデル分析

廣田 俊郎 技術の高度化と経営戦略

◆ 第28巻第4号 (1983年10月)

〔論文〕

田中 茂和 日本の対外直接投資：産業組織論的考察

中辻 卯一 「OA」の経営学的考察

西岡 俊哲 ソヴェト政権初期の協同組合—消費コミュニオンを中心として—

藤田 彰久 生産効率化への若干の考察—トヨタ生産方式を中心に(4)—

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車市場の発展—1920年代半ばを中心にして—

長砂 實 労働集団, および企業, 施設, 組織の管理におけるその役割の向上に関するソ連邦法律(邦訳)

藤井 茂

〔書評〕

角谷 登志雄 奥田幸助・高堂俊彌編著『経営参加と労働組合』(関西大学経済・政治研究所, 1983年)

◆ 第28巻第5号 (1983年12月)

〔論文〕

田中 茂和 我が国製造業における対内直接投資と産業組織

藤田 彰久 生産効率化への若干の考察—トヨタ生産方式を中心に(5)—

三谷 真 戦後百貨店法とその制定をめぐる問題について

〔研究ノート〕

加藤 義忠 国家の必然性とその本質—エンゲルス国家論の分析を中心として—

〔資料〕

井上 昭一 工場閉鎖だ！—アメリカ産業界を変革した偉大な坐り込みストライキ—

陶山 計介 「不足」、市場構造、経済主体の協働

◆ 第28巻第6号 (1984年2月)

〔論文〕

大橋 昭一 ナフタリらの経済民主主義論について (I) —ドイツ経済民主主義論の確立—

岡部 孝好 企業に対する貸付取引と外部会計情報の役割

加藤 義忠 資本主義下の流通と国家 (I)

坂井 昭夫 アメリカの軍事生産に関する一分析

〔資料〕

井上 昭一 フォード社の売店経営—小売業の一形態—

〔学会消息〕

◆ 第29巻第1号 (1984年4月)

〔論文〕

大橋 昭一 ナフタリらの経済民主主義論について (II) —ドイツ経済民主主義論の確立—

岡部 孝好 外部会計情報分析のフレームワーク—エージェント理論からの展望—

〔研究ノート〕

三谷 真 ヴェブレンの「見せびらかしのための消費」について—「消費社会」論のための予備的考察—

〔資料〕

末政 芳信 C. E. Knoepfelの経歴と著作について

〔書評〕

姉崎 義史 亀井利明著『危険管理論—企業危険とリスクマネジメントの理論—』(中央経済社, 1984年)

田中 茂和 M. A. Utton and A. D. Morgan, *Concentration and Foreign Trade*, Cambridge University Press, 1983.

◆ 第29巻第2号 (1984年6月)

〔論文〕

三谷 真 消費・欲望・消費社会—J. ボードリヤールの「消費社会」論の検討—

松田 裕之 アメリカにおける「会社組合」の発展と労働組合運動—R. W. ダンの所論を中心に—

〔研究ノート〕

坂井 昭夫 希少金属 (レアメタル) をめぐる問題状況—「第2の資源問題」—

東海林 滋 係船点の理論と石油危機後の不定期船市場—市場の「構造変化」が教えたもの—

◆ 第29巻第3号 (1984年8月)

〔論文〕

岡部 孝好 道徳的陥穽の危険とスチュワードシップ会計

加藤 義忠 資本主義下の流通と国家 (II)

- 陶山 計介 VMS論と「取引費用パラダイム」
 松尾 聿正 最適開示水準決定要因

◆ 第29巻第4号 (1984年10月)

〔論文〕

- 大橋 昭一 ドイツにおけるテイラーシステムの導入過程 (I)
 加藤 義忠 資本主義下の流通と国家 (III)
 三谷 真 消費者と独占禁止政策—消費者主催の理念と現実とにかかわって—

〔研究ノート〕

- 陶山 計介 2つの修正M&Hモデルについての考察—80年EGOS国際会議での議論から—

〔書評〕

- 林 昭 K. シューマッハー著・大橋昭一監訳『西ドイツ共同決定制批判』(関西大学経済・政治研究所, 1984年)

◆ 第29巻第5号 (1984年12月)

〔論文〕

- 岩佐 代市 資金循環構造の変化と金融政策
 大橋 昭一 ドイツにおけるテイラーシステムの導入過程 (II)
 加藤 義忠 資本主義下の流通と国家 (IV)

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 MIS, OAとニューメディア (I)

〔資料〕

- 生田 靖 ハンガリー農業の改革と発展 (1)

◆ 第29巻第6号 (1985年2月)

〔論文〕

- 高柳 龍芳 監査証明書の歴史
 田中 茂和 国際貿易と市場成果—わが国製造業に関する分析—
 土井 教之
 松尾 聿正 SEC開示規制の統合化—開示負担軽減政策を中心として—

〔研究ノート〕

- 中辻 卯一 MIS, OAとニューメディア (II)

〔資料〕

- 生田 靖 ハンガリー農業の改革と発展 (2)
 井上 昭一 労働者の経営参加

〔書評〕

- 三国 英実 岡村明達・片桐誠士・保田芳昭編『現代日本の流通政策』(森下二次也監修『講座現代日本の流通経済』第四巻)

- 水口 憲人 横田 茂著『アメリカの行財政改革—予算制度の成立と展開—』(有斐閣, 1984年)

〔学会消息〕

◆ 第30巻第1号 (1985年4月)

〔論文〕

- 池島 正興 「市場隔離型」国債管理政策の展開と資本蓄積—国債市場自由化の予備的考察—
 岡部 孝好 報告利益の最大化仮説, 最小化仮説および平準化仮説
 田中 茂和 為替リスクとその回避—我が国における為替リスク対策の現状と展望—
 笹倉 淳史 国際会計の枠組みについて—比較会計制度論と会計基準統一論の関係を中心として—

〔資料〕

- 井上 昭一 産業民主主義とは何か

◆ 第30巻第2号 (1985年6月)

〔論文〕

- 松尾 聿正 経営者による企業実態の討議と分析—SECの開示改善策を中心として—
 三谷 真 商業独占について—とくにその独占概念にかかわって (その1) —

〔資料〕

- 井上 昭一 自動車工業と組織労働
 高尾 裕二 法人資金税の仕組み—会計的分析のための準備として—
 Ekkehard Sachse *Introduction of Industrial Robots to Production and Tendencies of Respective Cost Requirements*

◆ 第30巻第3号 (1985年8月)

〔論文〕

- 田中 茂和 為替レートと直接投資：我が国に関する実証
 吉田 友之 複合運送証券に関する一考察—荷為替決済と複合運送証券の取り扱い方を中心として—

〔資料〕

- 井上 昭一 なぜ産業別組合が必要なのか
 高柳 龍芳 中小会社監査についての日税連への批判

◆ 第30巻第4・5号 (1985年12月)

〔論文〕

- 廣田 俊郎 アメリカ企業の技術計画活動と技術戦略—『フォーチュン』誌ランキング500社の実態—
 松尾 陽好 組織文化と個人

〔研究ノート〕

- 陶山 計介 需給斉合と製品政策をめぐる若干の問題 (1)

〔書評〕

- 林 昭 大橋昭一・長砂 實編著『経済民主主義と産業民主主義』(関西大学経済・政治研究所, 1985年)

◆ 第30巻第6号 (1986年2月)

〔論文〕

- 廣田 俊郎 日本企業とアメリカ企業の技術開発—製造業売上高上位500社の実態比較—
 明神 信夫 SEC取替原価情報の算定方法および開示方法の実態—NAAの実態調査にもとづいて—

- 松田 裕之 ベル・システムにおける会社組合主義の原型について
—A T & T長距離回線部門従業員協会の規約を中心に—

〔学会消息〕

◆ 第31巻第1号 (1986年4月)

〔論文〕

- 羽原 敬二 航空機機体保険約款に関する一考察 (1)
藤井 一弘 組織科学における伝統—組織進化への2つの視座—

〔研究ノート〕

- 永沼 博道 中世ジェノヴァ商人の心性について

〔資料〕

- 李 松操 中国保険事業の発展情况及びその問題点

◆ 第31巻第2号 (1986年6月)

〔論文〕

- 池島 正興 国債市場の自由化と資本蓄積—国債市場自由化への一視点—
岩佐 代市 預金金利自由化と銀行利潤—一つの理論的考察—
羽原 敬二 航空機機体保険約款に関する一考察 (2)

Shoichi Ohashi Zur gegenwärtigen Situation der betriebswirtschaftlichen Forschung in Japan

〔資料〕

- 井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔1〕

◆ 第31巻第3・4・5号 (1986年10月)

創立百周年記念特輯

商学会創設三十周年記念特輯

百周年記念特輯の刊行にあたって 学長 大西昭男

序 商学部長 生田靖

〔論文〕

- 生田 靖 日本の生協運動とウェップ夫妻の「消費組合運動」論
池島 正興 大量国債の累積と国債整理論議
—第1次大戦後イギリスのColwyn Committee Reportの検討を中心として—
井上 昭一 ジェネラル・モーターズ会社の経営戦略
岩佐 代市 預金金利自由化の帰結について—銀行行動理論の観点からの考察—
植野 郁太 制度会計における利子の資産化—その意義と史的点描—
大橋 昭一 マンネスマン社における経営参加をめぐる紛争
鍛冶 邦雄 合衆国における日本人入移民—Dillingham Report (1911) を中心に—
加藤 義忠 社会主義の消費財流通問題についての覚書
亀井 利明 わが国におけるリスクマネジメント論の展開
来住 哲二 Air Waybillについての—考察—
高堂 俊彌 現代企業における従業員対策の—断面—メンタル・ヘルスをめぐる若干の問題点について—
酒井 文雄 会計における形式論理の適用性—Leo A.シュミット教授の所説の—考察—

- 清水 宗一 遞減償却法の一考察
- 東海林 滋 現代アメリカの保守主義と海運政策—国防海運の変容—
- 陶山 計介 差別的優位性概念と需給斉合水準—オルダースンの所説の検討を中心に—
- 田中 茂和 寡占的市場構造と輸入競争
- 寺尾 晃洋 アメリカのパブリック・オーソリティ
- 長砂 實 ソ連邦における基本的生産環（合同・企業）の自主性の拡大—根拠・現状・展望—
- 中辻 卯一 情報化と企業経営
- 永沼 博道 中世末期ジェノヴァにおける「アルベルゴ」の生成
- 羽原 敬二 第2次世界大戦以後の航空保険事業の進展と航空産業の変革
- 廣田 司朗 西ドイツ・エネルギー政策前史の一考察
—M.マイアー レンシュハウゼンの所説を中心として—
- 廣田 俊郎 日本企業の技術戦略
- 松尾 聿正 証取法開示規制の動向
- 三上 宏美 都市バスの再生は可能か
- 三谷 真 「大衆社会」か「分衆社会」か
- 明神 信夫 SEC取替原価情報の有用性に関して
- 保田 芳昭 経済摩擦・円高と百貨店
- 横田 茂 吹田市の変貌と都市政策
- 吉信 肅 外国貿易・資本の「文明化」作用について
- 飯野 春樹 わが国における組織理論展開の一端—バーナード生誕100年によせて—
- ギンター・シュミット 社会主義の経済法則とドイツ民主共和国におけるその理論的および経済政策的要請
- ミラディン・コーラッチ ユーゴスラビア経済の当面の諸問題

商学会創設30周年記念行事記録

座談会：関西大学商学会30年の歩みと商学部的发展によせて

◆ 第31巻第6号（1987年2月）

〔論文〕

坂井 昭夫 日本の軍事費—近年の特徴的動向の検証—

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔2〕

李 松操 中国の経済発展と中国人民保険事業

関西大学百周年商学部記念事業

〔シンポジウム〕

- ・ 変わるゆく日本—21世紀への旅—
- ・ 情報革命—その光とかげ—
- ・ 日本経済の国際化
- ・ 関西大学創立百周年、商学部・商学会記念事業の記録 関西大学創立100周年・商学部記念事業実行委員会 委員長 保田芳昭

〔学会消息〕

◆ 第32巻第1号 (1987年4月)

〔論文〕

坂井 昭夫 武器輸出の伏流

高柳 龍芳 中小会社監査の制度化への疑点

Katalin Bábosik *The Hungarian Economic Development and the Tasks of Co-operatives*

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔3〕

◆ 第32巻第2号 (1987年6月)

〔論文〕

岡部 孝好 フランチャイズ契約と会計情報システム〔1〕

杉野 幹夫 国際競争下のマーケティング論

〔研究ノート〕

高柳 龍芳 「中小会社監査」研究

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔4〕

◆ 第32巻第3号 (1987年8月)

〔論文〕

岡部 孝好 フランチャイズ契約と会計情報システム〔2〕

松尾 聿正 為替差額の開示実態と為替差損益が企業利益に及ぼす影響〔1〕

三谷 真 中小小売商業と小売商調法

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔5〕

◆ 第32巻第4号 (1987年10月)

〔論文〕

松尾 聿正 為替差額の開示実態と為替差損益が企業利益に及ぼす影響〔2〕

呉 耀宗 中国保険事業の現状および発展動向

〔研究ノート〕

三谷 真 消費の変化と小売商業

〔資料〕

井上 昭一 アメリカ自動車工業のパイオニアたち〔6〕

◆ 第32巻第5号 (1987年12月)

〔論文〕

廣田 俊郎 医薬品産業企業の技術開発マネジメント

〔研究ノート〕

永沼 博道 技術進歩と消費需要—前工業化社会における技術—

〔資料〕

井上 昭一 GM輸出会社について—1920年代初期の海外自動車販売—

〔書評〕

前川 寛 亀井利明著『保険総論—リスクマネジメントと保険の理論—』（同文館，1987年）

◆ 第32巻第6号（1988年2月）

〔論文〕

- 井上 昭一 管理組織論に関する一考察—J. D. ムーニーの所説を中心に—
 廣田 俊郎 日米のハイテク産業企業と成熟産業企業の技術開発マネジメント
 岩田 浩 社会的責任論の基礎を求めて—バーナードの道徳的制度概念の展開—

〔書評〕

山本 繁紳 R. E. ケイプス, R. W. ジョーンズ著 小田正雄, 江川育志, 田中茂和訳
 『国際経済学入門（国際貿易編）』『国際経済学入門（国際金融編）』（多賀出版，1987年）

〔学会消息〕

◆ 第33巻第1号（1988年4月）

〔論文〕

- 井上 昭一 経営組織の生成・発展と組織理論
 東海林 滋 不定期船の供給調整に関する理論について
 中間 敬弑 Received of・・・とReceived from・・・について

〔資料〕

ハインツ・パラジュニンスク 独占資本主義における生産力発展と相対的剰余価値の関連について
 ヘルマン・ジモン
 大橋 昭一訳

◆ 第33巻第2号（1988年6月）

〔論文〕

- 井上 昭一 1920年代初期のジェネラル・モーターズ会社の組織改革とムーニー理論
 平山健二郎 開放経済における金融政策の効果：
 小規模マクロ計量モデルによるシミュレーション分析の試み
 廣瀬 幹好 経営管理思想史研究の一断面—『経営管理思想の進化』新版によせて—

〔資料〕

加藤 義忠 商業集中の影響（I）

◆ 第33巻第3号（1988年8月）

〔論文〕

陶山 計介 カウンター・セグメンテーション戦略と需給斉合優位—費用優位

〔資料〕

井上 昭一 GM輸出会社の組織と経営原理
 加藤 義忠 商業集中の影響（II）

〔書評〕

堤 矩之 高堂俊彌著『経営労務の構造と展開』（ミネルヴァ書房，1988年）

◆ 第33巻第4・5号 (1988年12月)

植野郁太教授古稀記念特集

献辞 商学部長 亀井利明

〔論文〕

- 山上 達人 会計情報ディスクロージャーの動向—とくにわが国の事例を中心として—
 天井 一夫 変動原価計算における貢献差益に関する一考察
 —C. T. Horngren & G. Fosterの所説を中心として—
 上田 雅通 理論の歴史性
 小西 一正 財務諸表監査における内部統制構造の検討
 金戸 武 19世紀イギリス鉄道会社における減価償却会計
 笹倉 淳史 キャッシュフロー会計について—T. A. Leeの所説を中心として—
 大橋 昭一 ドイツにおけるレーテ運動の生成
 岡部 孝好 「メイク・オア・バイ」の意思決定と会計情報システム (I)
 高堂 俊彌 外国人労働者問題をめぐる最近の動向について
 酒井 文雄 原価と費用の関係について
 末政 芳信 IBM社におけるセグメント情報の開示 (1975年から1981年まで)
 高柳 龍芳 監査基準設定主体への一考察
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (I) —特にその経営学的考察について—
 松尾 聿正 アメリカの会計ディスクロージャーと社会関連情報
 —たばこ, 電機, 自動車および航空業界を中心として—
 明神 信夫 米国物価変動会計実践の変遷
 —特に, SECの動向ならびにFASBの概念的フレームワークとの関連において—

〔研究ノート〕

植野 郁太 ゲルストナーの貸借対照表分析論

植野郁太教授 略歴・著作目録

◆ 第33巻第6号 (1989年2月)

〔論文〕

- 加藤 義忠 現代流通分析の基礎視角—現代流通経済論の対象とその理論的枠組み—
 坂井 昭夫 アメリカの対日知的所有権戦略の展開 (上)
 末政 芳信 IBM社におけるセグメント別財務報告 (1982年から1987年まで)
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (II) —特にその経営学的考察について—

〔資料〕

- 井上 昭一 ジェネラル・モーターズ会社の方針と実践
 寺尾 晃洋 西ドイツにおける最近の公企業論争
 —公共経済・共同経済協会編『現代の社会的市場経済における公企業』, ノモス社, 1984年の概要—

Ekkehard Sachse *Kombinats —As Fundamental Economic Units of National Economy and Modern Form of Their Management in the Industrial Production of the German Democratic Republic*

〔書評〕

- 河合 秀敏 高柳龍芳著『決算監査士制度』(千倉書房, 1988年)

〔学会消息〕

◆ 第34巻第1号 (1989年4月)

〔論文〕

- 荒木 孝治 システムの寿命のある特性に関する検定方式
 岡部 孝好 「メイク・オア・バイ」の意思決定と会計情報システム (2)
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (Ⅲ) —特にその経営学的考察について—
 廣瀬 幹好 タウン提案再考
 郭 俸喚 共同海損分担請求権とその実行上の問題点に関する研究
 山本 雄吾 規制の理論と規制緩和政策について—交通産業の場合—

◆ 第34巻第2号 (1989年6月)

故 清水宗一教授追悼号

〔追悼文〕

- 追悼の辞 商学部長 亀井利明

〔論文〕

- 木内 佳市 財務と会計—清水宗一博士の所説に関連して—
 森 昭夫 最適財務決定理論の実践的有効性
 竿田 嗣夫 西ドイツ貸借対照表税法における「基準性の原則」の意義
 高尾 裕二 会計数値形成についての諸前提
 吉川 浩二 会計政策の開示について—APBオピニオンNo.22を中心として—
 大橋 昭一 ドイツ経営協議会の生成
 岡部 孝好 垂直的取引関係と会計情報システム
 小西 善雄 自動車の安全性、欠陥性、市場性の商品学的考察
 東海林 滋 現代海運における船籍制度とその運用—現象、本質および歴史的意義—
 寺尾 晃洋 水道料金へのアプローチ
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (Ⅳ) —特にその経営学的考察について—
 松尾 聿正 会計責任の諸相とディスクロージャー

故 清水宗一教授 年譜・著作目録

◆ 第34巻第3号 (1989年8月)

〔論文〕

- 荒木 孝治 a 分位余命関数の単調性の検定
 大橋 昭一 レーテ制度化と経営協議会 (Ⅰ)
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (Ⅴ) —特にその経営学的考察について—
 宋 一 経営者の性格による企業危険とリーダー特性理論の考察

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 第1次百貨店法の成立経緯とその特質

◆ 第34巻第4号 (1989年10月)

〔論文〕

- 大橋 昭一 レーテ制度化と経営協議会 (II)
 末政 芳信 IBM社の事業区分 (セグメント) 別報告 (1977年から1981年まで) に関する財務分析 (1)
 中辻 卯一 情報ネットワークと企業経営 (VI) —特にその経営学的考察について—
 藤田 彰久 『国際生産』における新カルチュアの創出と生産技術

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 第2次百貨店法とその特質

〔資料〕

- 高堂 俊彌 西ドイツにおける労働時間弾力化の展開
 —Peter Bellgardt; Flexible Arbeitszeitsysteme. 1987を中心に—
 Franz Böcker Polarization and Individualization of Consumer Behavior and Some Consequences for
 Marketers and Marketing Researchers

◆ 第34巻第5号 (1989年12月)

〔論文〕

- 来住 哲二 荷為替信用状取扱いにおける留意点 (I)
 末政 芳信 IBM社の事業区分 (セグメント) 別報告 (1977年から1981年まで) に関する財務分析 (2)
 永沼 博道 地中海から大西洋へ: ジェノヴァ人のイベリア半島植民
 藤田 彰久 国際生産における企業文化と組織融合
 松尾 聿正 ディスクロージャーと会計責任
 宋 一 管理危険の構図と経営中断危険
 山岡 隆夫 大規模小売企業の「国際化」戦略について—東南アジア地域への国際展開を中心に—

〔研究ノート〕

- 寺尾 晃洋 公企業形態論の論点

◆ 第34巻第6号 (1990年2月)

〔論文〕

- 坂井 昭夫 アメリカの対日知的所有権戦略の展開 (下)
 廣田 俊郎 研究・技術開発活動の計画とコントロール

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 大規模小売店舗法の特徴

〔資料〕

- 中辻 卯一 ADV (自動データ処理) 能力の開発と経済と管理における利用
 —パウル・シュミッツの研究—

〔学会消息〕

◆ 第35巻第1号 (1990年4月)

〔論文〕

- 田中 茂和 内外価格差の経済学
 廣瀬 幹好 ASMEと管理部会の設置

吉信 肅 リカードウ「比較生産費説」の論理構造とそれをめぐる最近の解釈批判（Ⅰ）

〔資料〕

中辻 卯一 統合情報システムの基礎としての事業データモデル（UDM）

—アウグスト・ヴィルヘルム シェールの研究—

◆ 第35巻第2号（1990年6月）

〔論文〕

来住 哲二 荷為替信用状取扱いにおける留意点（Ⅱ）

吉信 肅 リカードウ「比較生産費説」の論理構造とそれをめぐる最近の解釈批判（Ⅱ）

〔研究ノート〕

岩佐 代市 銀行店舗規制と店舗ネットワークの動向について

—店舗規制の自由化と店舗集中化傾向の検討—

加藤 義忠 大店法改正とその後の規制強化

◆ 第35巻第3号（1990年8月）

〔論文〕

来住 哲二 荷為替信用状取扱いにおける留意点（Ⅲ）

〔書評〕

阿部 顕三 田中 茂和著『為替レートと国際金融』（中央経済社、1990年）

杉野 幹夫 山中 豊国著『総合商社—その発展と理論—』（文真堂、1989年）

辻田 忠弘 中辻 卯一著『「経営情報システム論」の展開』（関西大学出版部、1990年）

◆ 第35巻第4号（1990年10月）

〔論文〕

荒木 孝治 意思決定の信頼性

末政 芳信 資本利益率分析によるセグメント業績の評価

—IBM社の事業区分（セグメント）別報告（1977年から1981年まで）の分析—

田中 茂和 日米構造協議の経済学

平山 健二郎 配当政策と企業価値

〔研究ノート〕

寺尾 晃洋 第三セクターの歴史的展開

◆ 第35巻第5号（1990年12月）

〔論文〕

明神 信夫 米国の物価変動会計と監査人の関与について

〔研究ノート〕

加藤 義忠 最近の流通規制緩和の展開

寺尾 晃洋 第三セクターの原型—若干の類型的事例について

〔翻訳〕

川端 康之 1989年米独改訂租税条約（Ⅰ）

◆ 第35巻第6号 (1991年2月)

〔論文〕

末政 芳信 「IBM社の事業区分(セグメント)別報告(1982年から1987年まで)に関する収益性分析

廣瀬 幹好 「日本的経営論」の一論調

松尾 聿正 アメリカ社会責任会計の動向—1980年代を中心として—

〔研究ノート〕

寺尾 晃洋 現段階の第三セクター

〔資料〕

岩佐 代市 合衆国銀行システムの不安定化と今後の対応—会見記, 1990年9・10月—

〔翻訳〕

川端 康之 1989年米独改訂租税条約(2)

〔学会消息〕

◆ 第36巻第1号 (1991年4月)

〔論文〕

末政 芳信 資本利益率分析によるIBM社の地域別セグメント報告(1977年から1989年まで)の分析(1)

〔研究ノート〕

東海林 滋 船舶管理市場について—海運産業構造国際化の一側面—

〔書評〕

飯田 修三 松尾 聿正著『会計ディスクロージャーの理論と実態』(中央経済社, 1990年)

〔翻訳〕

川端 康之 1989年米独改訂租税条約(3)

◆ 第36巻第2号 (1991年6月)

〔論文〕

末政 芳信 資本利益率分析によるIBM社の地域別セグメント報告(1977年から1989年まで)の分析(2)

〔研究ノート〕

高柳 龍芳 現代における私会計監査と公会計監査(上)

〔書評〕

加藤 義忠 西村 多嘉子著『現代日本の消費者と流通』(法律文化社, 1990年)

関下 稔 杉野 幹夫著『総合商社の市場支配』(大月書店, 1990年)

◆ 第36巻第3号 (1991年8月)

〔論文〕

笹倉 淳史 真実かつ公正な概観の遵守状況—Nobes = Parkerの調査を手がかりとして—

高柳 龍芳 監査意見の二重構造に関する分析的検討

松尾 聿正 ドイツ新商法典に基づく会計情報開示

明神 信夫 米国物価変動会計に関する監査基準の変遷について

〔研究ノート〕

松谷 勉 株価乱高価の実証研究(1)—ダウ・ジョーンズ工業株平均株価の日次変動率について—

◆ 第36巻第4号 (1991年10月)

〔論文〕

- 来住 哲二 荷為替信用状取扱いにおける留意点 (IV)
 末政 芳信 米国証券取引委員会によるセグメント情報の開示要求
 長砂 實 「体制としての社会主義」をどうとらえるか (上)

〔研究ノート〕

- 高柳 龍芳 現代における私会計監査と公会計監査 (下)

〔書評〕

- 田中 照純 橘 博／大橋昭一編著『経営学へのアプローチ』(ミネルヴァ書房, 1991年)

◆ 第36巻第5号 (1991年12月)

〔論文〕

- 池島 正興 戦後アメリカの大量国債の累積と国債管理政策論争 (上)
 中間 敬弼 副詞 'above' の形容詞用法について
 長砂 實 「体制としての社会主義」をどうとらえるか (下)

〔資料〕

- 井上 昭一 日本の自動車—あるソ連新聞記者から見た日本自動車工業論—

〔書評〕

- 宗像 正幸 大橋昭一編著『現代のドイツ経営学』(税務経理協会, 1991年)

◆ 第36巻第6号 (1992年2月)

〔論文〕

- 池島 正興 戦後アメリカの大量国債の累積と国債管理政策論争 (下)
 寺尾 晃洋 広域行政の経営システム—とくに水道広域化の場合について—

〔研究ノート〕

- 川端 康之 国際課税と南北問題序説 (1) —1988年国連報告書を中心に—

〔資料〕

- 井上 昭一 ソ連の自動車事情 (1)

〔学会消息〕

◆ 第37巻第1号 (1992年4月)

〔論文〕

- 松尾 聿正 有価証券報告書の改善に関する一私案

〔研究ノート〕

- 川端 康之 国際課税と南北問題序説 (2) —1988年国連報告書を中心に—

〔資料〕

- 井上 昭一 ソ連の自動車事情 (2)

〔書評〕

- 安倍 惇 吉信肅著『古典派貿易理論の展開』(同文館, 1991年)

◆ 第37巻第2号 (1992年6月)

〔論文〕

- 笹倉 淳史 監査人による真実かつ公正な概観の理解について
—Parker=Nobesの調査を手がかりとして—
- 田中 茂和 外国為替市場の効率性に関する若干のパズルについて
- 明神 信夫 米国の物価変動会計に関する記述情報について

〔研究ノート〕

- 松谷 勉 株価乱高下の実証研究(2)
—ダウ・ジョーンズ工業株平均株価の週間、月間変動率について—

〔資料〕

- 井上 昭一 GMの成長軌跡—1960年代初期を中心に—

〔書評〕

- 陶山 計介 中田善啓著『マーケティング戦略と競争』(同文館, 1992年)

◆ 第37巻第3・4号合併号 (1992年10月)

寺尾晃洋教授古希記念号

- 献辞 商学部長 松尾聿正

〔論文〕

- 池上 惇 公企業の政治経済学—憲法的ルールと非営利組織—
- 大坂 健 東三河沿岸域のリゾート開発問題
- 佐々木 弘 わが国水道事業の広域化にむけて
- 玉村 博巳 フランス民営化と公共サービス概念
- 遠山 嘉博 イギリス水道事業の国有化と民営化
- 岩井 浩 失業統計の国際比較の動向と試算について
- 岡部 孝好 経営者の裁量行動と償却方法の変更
- 川端 康之 財務会計とアームズレンゲス取引(再論)—理論面での考察—
- 木田 和雄 チリの経済自由化過程—ピノチェト政権の民営化を中心として—
- 中間 敬弼 'Billion' と 'Trillion' の用法について
- 長砂 實 資本主義化を急ぐロシアの民営化問題
- 廣田 俊郎 公的研究機関の研究活動と研究マネジメント
- 藤田 彰久 グローバル生産と生産文化(その1)—一般的背景事情—

- 寺尾晃洋教授 略歴・著作目録

◆ 第37巻第5号 (1992年12月)

〔論文〕

- 池島 正興 アイゼンハワー政権期の国債管理政策
- 廣瀬 幹好 技師とマネジメント思想—中川誠士氏の近著によせて—
- 明神 信夫 ゼネラル・モーターズ社の物価変動会計に関する記述情報について

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 大店法再改正とその影響
- 廣田 司朗 西ドイツ租税政策の研究—ユタ・ムシャイトを中心として—(1)

〔資料〕

- 井上 昭一 ジェネラル・モーターズ社の現金準備と価格政策
—1920年代前半～30年代後半までに限定して—

◆ 第37巻第6号 (1993年2月)

〔論文〕

- 羽鳥 敬彦 1970年代の日本貿易 (上)
廣田 俊郎 日本企業による海外研究所設置—その目的, 方法, 背景—
佐々木保幸 フランスにおける小売商業構造の変動とロワイエ法

〔研究ノート〕

- 加藤 義忠 戦時流通統制の展開

〔書評〕

- 橋本 輝彦 井上 昭一著『GM—輸出会社と経営戦略—』(関西大学出版部, 1991年)

〔学会消息〕

◆ 第38巻第1号 (1993年4月)

〔論文〕

- 大橋 昭一 ドイツにおけるリーン生産方式の導入過程 (1)
羽鳥 敬彦 1970年代の日本貿易 (中)

〔研究ノート〕

- 松谷 勉 株価乱高値の実証研究 (3)
—ダウ・ジョーンズ工業株平均株価の3カ月, 6カ月, 年間変動率について—

〔書評〕

- 中川 涼司 奥田幸介/大橋昭一/井上昭一編著『現代の経営と管理』(ミネルヴァ書房, 1992年)

◆ 第38巻第2号 (1993年6月)

〔論文〕

- 池島 正興 国債満期構成の長期化と満期前借換—ケネディ政権期の国債管理政策の一考察—
大橋 昭一 ドイツにおけるリーン生産方式の導入過程 (2)
高山 新 J. S. ミルの土地改革論と土地課税論

〔書評〕

- 渡辺 朗 大橋昭一著『経営学理論』(中央経済社, 1992年)

◆ 第38巻第3・4号合併号 (1993年10月)

東海林滋教授古希記念号

- 献辞 商学部長 松尾聿正

〔論文〕

- 國領 英雄 国際輸送におけるネットワークの形成—国際輸送の複合化過程を通して—
柴田 悦子 ターミナル機能と港湾
松本 勇 極東欧州運賃同盟 (FEFC) の共通内陸運賃協定とEC競争法
三木 楯彦 コンテナ船輸送における荷主企業の船会社選択

- 宮下 國生 我が国製造業のロジスティクス展開
 池島 正興 金融の自由化・証券化・国際化と地域金融
 大橋 昭一 ドイツのQCサークル
 来住 哲二 信用状発行銀行から見たる荷為替信用状取扱いにおける留意点
 須田 一幸 会計の機能と債務契約
 高橋 望 航空規制緩和と安全性
 羽鳥 敬彦 1970年代の日本貿易（下）
 羽原 敬二 航空保険における基礎概念に関する一考察
 藤田 彰久 H. EmersonとC. B. Going
 —エマソンの「豊臣秀吉論」的の日本経営観、およびゴーイングの「コーディネーション」を中心の一

東海林滋教授 略歴・著作目録

◆ 第38巻第5号（1993年12月）

〔論文〕

- 池島 正興 ツイスト・オペレーションのもとでの国債市場とディーラーの収益

〔研究ノート〕

- 川端 康之 国際課税と南北問題序説（3）—1988年国連報告書を中心の一
 酒井 文雄 組別総合原価計算の一考察

〔資料〕

- 井上 昭一 日産自動車のオーストラリア撤退
 高堂 俊彌 大恐慌期における人事・労務プログラム—National Industrial Conference Board, *Effect of the Depression on Industrial Relations Programs, 1934.*—

〔書評〕

- 岩下 弘 保田芳昭著『国際化時代の流通政策』（ミネルヴァ書房，1993年）
 中田 善啓 陶山計介著『マーケティング戦略と需給斉合』（中央経済社，1993年）

◆ 第38巻第6号（1994年2月）

〔論文〕

- 佐々木保幸 わが国の中小小売商業振興政策の展開

〔研究ノート〕

- 末政 芳信 “IBM社における「米国」地域セグメント財務情報について”
 松谷 勉 株価変動率分析—ダウ・ジョーンズ工業株平均株価の曜日・週・月別変動率について—

〔資料〕

- 廣田 俊郎 住友電気工業株式会社の研究開発システム

〔学会消息〕

◆ 第39巻第1号（1994年4月）

〔論文〕

- 岩佐 代市 預金金利自由化とリーテイル市場
 須田 一幸 IASC概念フレームワークの行方

陶山 計介 アーカーのブランド・エクイティ概念に関する考察

〔研究ノート〕

松尾 聿正 環境会計情報開示環境の進展

〔書評〕

長砂 實 重田澄男著『社会主義システムの挫折—東欧・ソ連崩壊の意味するもの—』(大月書店, 1994年)

◆ 第39巻第2号 (1994年6月)

〔論文〕

羽鳥 敬彦 1980年代の世界経済(上) —分極化の新たな展開と地域主義—

Gábor Bakos MAGYAR SUZUKI

〔書評〕

大橋 昭一 森哲彦著『経営学史序説—ニックリッシュ私経済学論—』(千倉書房, 1993年)

小田 章 吉田和夫・大橋昭一編著『基本経営学用語辞典』(同文館, 1994年)

◆ 第39巻第3号 (1994年8月)

〔論文〕

荒木 孝治 一定時間使用後のシステムの故障分布の特徴づけに関する検定法

池島 正興 ツイスト・オペレーションの経済効果

岩佐 代市 英国の金融自由化と金融機関間競争—拮抗力としての組合組織金融機関について—

〔書評〕

角野 信夫 ダニエル・ネルスン編著(廣瀬幹好他訳)『科学的管理の展開—テイラーの精神革命論—』
(税務経理協会, 1994年)

◆ 第39巻第4号 (1994年10月)

〔論文〕

荒木 孝治 ローレンツ順序の検定

羽鳥 敬彦 1980年代の世界経済(下) —分極化の新たな展開と地域主義—

松尾 聿正 米国企業年次報告書における社会関連情報開示

—2時点間の項目別方式別特徴を中心として—

〔研究ノート〕

末政 芳信 IBM社の「アジア/太平洋」地域セグメント財務情報と日本IBM株式会社の財務業績(1)

◆ 第39巻第5号 (1994年12月)

〔論文〕

Shoichi Ohashi Japanische Betriebsführung, Gegenwart und Zukunft

田中 茂和 日米包括経済協議の経済学

真部 和義 流通規制緩和論の展開

〔研究ノート〕

末政 芳信 IBM社の「アジア/太平洋」地域セグメント財務情報と日本IBM株式会社の財務業績(2)

◆ 第39巻第6号 (1995年2月)

〔論文〕

- 杉野 幹夫 イギリスにおける多国籍企業に対する民主的規制論について
 田中 茂和 規制緩和と内外価格差
 松谷 勉 日米株価変動率比較(1)

〔資料〕

- 井上 昭一 フォード自動車会社の経営戦略—1990年代の世界戦略—

〔学会消息〕

◆ 第40巻第1号 (1995年4月)

〔論文〕

- 松尾 聿正 日本の会計制度
 松谷 勉 日米株価変動率比較(2)
 森田知香子 アメリカの信用分析における絶対的比率基準の史的展開を中心として
 —企業信用供与の生成から1910年代末に至るまで—

〔研究ノート〕

- 井上 昭一 事業部制組織の生成・発展・展開—GMを事例研究として—

◆ 第40巻第2号 (1995年6月)

故 木田和雄教授追悼号

〔追悼文〕

- 追悼の辞 商学部長 加藤義忠

〔追悼講演〕

- 吉信 肅 木田和雄名誉教授の学問を偲んで

〔論文〕

- 岡部 孝好 債権者保護のための会計を考える
 坂井 昭夫 覇権国理論をめぐる論壇概況
 杉本 昭七 現代世界経済研究を振り返って—回顧と残された課題—
 辻 豊治 日本におけるマリアテギの紹介と研究
 平山健二郎 金融政策の効果波及経路：—ベクトル誤差修正モデルによる実証分析の試み—
 池島 正興 第2次大戦前のアメリカの国債管理政策—その理論と歴史—
 大橋 昭一 経営・管理の社会学理論における4方向
 長砂 實 本格化するロシアの民営化—第一段階から第二段階へ—
 羽鳥 敬彦 明治初期の日本貿易—その統計的概観—
 松谷 勉 月次投資収益率日米比較

故 木田和雄教授 略歴・著作目録

◆ 第40巻第3号 (1995年8月)

〔論文〕

- 来住 哲二 受益者から見たる荷為替信用状取扱いにおける留意点(1)
 —1993年信用状統一規則を中心として—

笹倉 淳史 イギリスにおける「財務報告の将来像」

Günther Schanz Japanese Management from a German Viewpoint

〔資料〕

酒井 文雄 関西大学商学部の先達

◆ 第40巻第4・5号合併号 (1995年12月)

廣田司朗教授古稀記念特集

献辞 商学部長 加藤義忠

〔論文〕

池上 惇 公的欲求の変化と財政学

坂井 昭夫 ネオ・リアリズムと国際公共財

坂野 光俊 1970年代後半西独における財政再建政策の特徴

宮本 憲一 地域経済論の課題と展望

森岡 孝二 現代日本の企業社会と性差別システム

池島 正興 アメリカの国債管理政策論の変貌

—古典的国債管理政策論の後退と景気対策型国債管理政策論の生成—

Shoichi Ohashi Vorläufer der Lehre über die Betriebsgemeinschaft in der deutschen Betriebswirtschaftslehre

鶴田 廣巳 キャピタル・ゲイン課税の論点

中間 敬弼 副詞 'below' と 'today' に関する一考察

長砂 實 「ソ連社会主義」の崩壊原因と「中国社会主義」の存続・発展条件

廣田 俊郎 企業内ベンチャーによる新規事業創造—住友電工化合物半導体事業の事例—

横田 茂 企業社会の地域構造

廣田司朗教授 略歴・著作目録

◆ 第40巻第6号 (1996年2月)

〔論文〕

池島 正興 第2次大戦直後の国債管理政策と「アコード」の成立

来住 哲二 受益者から見たる荷為替信用状取扱いにおける留意点(Ⅱ)

—1993年信用状統一規則を中心として—

笹倉 淳史 イギリス会計制度の改正—デアリング・レポートと1989年会社法改正—

〔書評〕

佐竹 正夫 田中茂和著『国際経済と産業組織—寡占と貿易・直接投資・収支調整—』(関西大学出版部, 1995年)

永田 誠 吉田和夫・大橋昭一編著『現代基本経営学総論』(中央経済社, 1995年)

〔学会消息〕

◆ 第41巻第1号 (1996年4月)

〔論文〕

松尾 聿正 環境情報開示のレベルについて

〔資料〕

田中 茂和 フランス産業の国際協争力

〔書評〕

海道ノブチカ 大橋昭一・小田章・G.シャント編著『日本的経営とドイツ的経営』（千倉書房，1995年）

長砂 實 溝端佐登史『ロシア経済・経営システム研究—ソ連邦・ロシア企業・産業分析—』（法律文化社，1996年）

◆ 第41巻第2号（1996年6月）

〔論文〕

Seiji ABE A Brief Survey of Railway and Aircraft Accidents in Japan and Investigations Thereof
Takemune SATO

池島 正興 「アコード」の成立からビルズ・オンリー政策の採用へ

笹倉 淳史 イギリスのコルポレート・ガバナンス論—キャドベリー報告書—

中辻 卯一 情報技術（IT）と経営組織—再考「経営情報論」—

◆ 第41巻第3・4号合併号（1996年10月）

〔論文〕

荒木 孝治 セルオートマン・モデルによる技術進化プロセス

中間 敬弼 'Subject to...'とその類例の用法について

松尾 隼正 環境情報開示のフレームワーク

〔翻訳〕

大橋 昭一 ギュンター・シャント：ドイツ経営経済学の現在の発展動向

◆ 第41巻第5・6号合併号（1997年2月）

〔論文〕

荒木 孝治 技術間競争に関する多層ニッチモデル

羽原 敬二 航空機ファイナンスにおけるリスク管理

荒鹿 善之 フランス会計に関する史的考察—1867年商事会社法制定までを中心に—

真部 和義 今日のイギリスの小売商業構造の変遷

〔研究ノート〕

高柳 龍芳 会計職業団体への提言

〔書評〕

石田 信博 吉田茂・高橋望著『国際交通論』（世界思想社，1995年）

〔学会消息〕

◆ 第42巻第1号（1997年4月）

酒井文雄教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

佐藤 博明 ベンジオン取引の貸借対照表処理—現代ドイツ会計制度の諸相—

田中 章義 会計学における批判の方法について—理論会計学と批判会計学—

- 中居 文治 わが国の大企業の自己資本の貨幣価値変動会計による修正
 西村 明 中国の産業構造と企業収益構造分析
 安部 誠治 本州四国連絡橋公団の機能と財政
 柴 健次 グローバル・ポートフォリオ戦略の財務的評価
 松谷 勉 1920年代におけるアメリカ投資論についての一考察
 三谷 真 学生と商店街—96年度末テストの答案から—
 酒井文雄教授 略歴・著作目録

◆ 第42巻第2号 (1997年6月)

吉信肅教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 板木 雅彦 貨幣蓄蔵と支払手段の統一物としての世界貨幣
 奥田 宏司 国際通貨の諸相と概念
 関下 稔 在米外国子会社の貿易活動
 —Foreign Direct Investment in the United States 1992の分析をもとにして— (I)
 藤原 貞雄 中国自動車産業と日本自動車企業
 村田 武 国際コーヒー市場とタイ産地
 池島 正興 アメリカ1960年代後半のクレジット・クラッチと国債発行・金利の高騰・インフレーションの高進
 杉野 幹夫 総合商社の中国市場進出—その実態と特徴—
 長砂 實 移行経済5ケ年の「成果」と「コスト」—ロシアと中央アジア諸国の場合—
 三谷 真 大震災と小売商業—復興の課題と展望—
 保田 芳昭 近年における大手小売業の国際化
 吉信肅教授 略歴・著作目録

◆ 第42巻第3号 (1997年8月号)

中辻卯一教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 辻田 忠弘 情報処理技術の発展と高度情報化社会における経営情報システム
 庭本 佳和 経営情報教育の構想—経営情報学の確立に向けて—
 小松 陽一 市場成熟とイノベーション
 施 學昌 グローバル経営と情報技術
 荒木 孝治 組織の進化アルゴリズムモデル
 岩佐 代市 金融環境の変化と協同組織金融機関—相互組織性と金融システム効率化・安定化への含意
 廣田 俊郎 日本のサービス産業企業の事業展開とサービス提供システムの解明
 藤田 彰久 生産管理と生産の意味について—財の生産とサービスの生産—
 松尾 聿正 経営者の環境情報開示動機
 中辻卯一教授 略歴・著作目録

◆ 第42巻第4号 (1997年10月)

末政芳信教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 小管 正伸 株主価値志向の予算管理—伝統的管理会計から戦略管理会計への転換を目指して—
 佐藤 康男 日本企業の事業部管理—予算編成の視点から—
 西田芳次郎 責任会計システムの基本問題
 久富 玄理 業績管理・評価尺度についての一研究—行動科学的管理会計の視点からの検討—
 平林 喜博 大正期の製造間接費計算論
 宮本 寛爾 多国籍企業の予算管理における為替相場変動の影響に関する一考察
 門田 安弘 管理会計の経験的研究方法序説
 笹倉 淳史 イギリスにおけるABCの現状
 水野 一郎 中国におけるCVP分析の展開—「商品保本保利期分析法」を中心として—
 森田知香子 経営管理目的のための財務諸表分析—1920年代における分析技法を中心として—
 末政芳信教授 略歴・著作目録

◆ 第42巻第5号 (1997年12月)

高堂俊彌教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 伊藤 健市 労働争議法案と従業員代表制
 —特別協議委員会加盟企業の対応を中心に—
 奥林 康司 新均等法と男女共同参画社会への対応
 島 弘 人事考課制度の効用
 渡辺 峻 新しい人間モデルと人材開発管理
 安部 誠治 鉄道事故調査制度のあり方に関する試論
 井上 昭一 GM事業部制組織の展開
 Shoichi Ohashi Gegenwärtige Bedeutung der Betriebswirtschaftslehre von Heinrich Nicklisch
 廣瀬 幹好 初期ASMEとプロフェッショナリズム
 三谷 真 わが国の情報通信政策の現状と課題—情報通信革命の行方を探るために—
 高堂俊彌教授 略歴・著作目録

◆ 第42巻第6号 (1998年2月)

来住哲二教授古稀記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 浅田 福一 国際商事仲裁に関する一考察
 中村 弘 製造物責任は無過失責任でよいのか—アメリカの動向に焦点を当てて—
 吉田 友之 貿易売買契約書におけるコンテナ・トレード・タームズ約款に関する
 —考察—同業者組合標準約款より—
 岩佐 代市 ナローバンク論と郵便貯金制度

- 亀井 利明 トルコの危機管理
 高橋 望 米国における小都市航空サービスに対する規制緩和の影響
 田中 茂和 国際経済取引と為替リスク
 中間 敬式 主語にかかるPredicate Appositive
 羽原 敬二 宇宙輸送事業に関する一考察
 松尾 聿正 環境情報開示のダイナミズム

来住哲二教授 略歴・著作目録

〔学会消息〕

◆ 第43巻第1号 (1998年4月)

〔論文〕

- 藤田 彰久 生産文化—文化としての、文化づくりとしての生産—
 会計基準国際化対応調査研究グループ代表 松尾聿正 会計基準国際化対応動向調査報告
 David Bailey Britain's Current Economic Policy; the Continued Absence of Strategic Involvement
 Roger Sugden

〔研究ノート〕

- 松尾 聿正 わが国企業における環境情報開示の周辺

〔書評〕

- 鈴木 辰治 ニックリッシュ経営経済学とその現代的意義
 —大橋昭一編著・渡辺 朗監訳『ニックリッシュの経営学』(同文館, 1996年)を読んで—

◆ 第43巻第2号 (1998年6月)

生田靖教授定年退職記念特集

献辞 商学部長 永沼博道

〔論文〕

- 亀谷 暎 農業資本形成の経済的特性と動因
 西岡 俊哲 大店法廃止と流通政策
 野村 秀和 NPOのマネジメント
 吉田 忠 情報化社会と統計調査の危機
 櫻原 正澄 戦後日本農政の転換と農業基本法の見直し
 東井 正美 農業基本法の意図と現実
 長砂 實 移行経済における国家の役割—ロシアの場合—

生田靖教授 略歴・著作目録

◆ 第43巻第3号 (1998年8月)

〔論文〕

- 宇恵 勝也 新古典派成長理論における貨幣と金融
 廣田 俊郎 経営資源、経営能力と競争優位性
 王 越 中国国有企業改革における「抓大放小」方針

〔資料〕

- 伊藤 健市 インターナショナル・ハーベスター社労使協議会制度に関する資料(1)

- 藤田 彰久 国際企業における日本的経営—異文化間組織の方法論—
 [書評]
 安倍 惇 吉信 肅著『国際分業と外国貿易』(同文館, 1997年)
 井村 進哉 池島正興著『アメリカの国債管理政策』(同文館, 1998年)
 岡本 人志 海道 進, 吉田和夫, 大橋昭一編著『現代ドイツ経営経済学』(税務経理協会, 1997年)

◆ 第43巻第4号 (1998年10月)

高柳龍芳教授古稀記念特集

献辞 商学部長 明神信夫

[論文]

- 加藤 恭彦 ドイツ商法の改正と監査報告書制度—Kon TraG (1998) を中心として—
 川端 康之 利益分割法における分割要素
 小西 一正 地方自治体への外部監査制度導入について
 津田 秀雄 明治期三井家の内部監査制度の変遷
 藤森 茂 原価管理目的についての一考察
 井上 昭一 世界産業別労働組合の興亡
 笹倉 淳史 イギリスの財務報告違反審査会
 柴 健次 金融システムと会計システムに関する予備的考察
 須田 一幸 減損会計の実務と理論
 廣瀬 幹好 アメリカにおける技術教育の発展と機械技師
 藤田 彰久 リサイクルかメンテナンスか—「持続可能な発展」と生産文化—
 松尾 聿正 改訂連結財務諸表原則が連結財務分析に与える影響
 松本 祥尚 職業会計士による保証機能の多層性
 水野 一郎 中国における労働者持分会計の可能性と展望
 明神 信夫 製造業における研究開発費の開示実態

高柳龍芳教授 略歴・著作目録

◆ 第43巻第5号 (1998年12月)

藤田彰久教授古稀記念特集

献辞 商学部長 明神信夫

[論文]

- 稲岡 潔 キャッシュ・フロー計算書の財務分析的視点からの検証
 片山 益男 問題解決プロセスの鳥瞰
 小島 敏彦 新製品開発のための情報システムとその管理について
 信夫千佳子 セル生産システムの構想について
 地代 憲弘 女性の人生設計と労働—看護就業者を中心に—
 由井 浩 ベンチマーキングの有効性と要件
 施 學昌 インターネットに基づく電子商取引の展開
 森 健一 PL問題と品質管理
 井上 昭一 自動車企業の海外での製造活動中止—日産自動車を素材にして—

藤田彰久教授 略歴・著作目録

◆ 第43巻第6号 (1999年2月)

〔論文〕

- 井上 昭一 クライスラー社の買収戦略と売却戦略
 岩佐 代市 デリバティブ市場の発展とシステミック・リスク
 加藤 義忠 大店法の廃止と大店立地法の制定 (I)

〔研究ノート〕

- 伊藤 健市 全国労働関係法と特別協議委員会一同法への「抵抗・不服従」の一事例—
 松尾 聿正 環境情報開示の現状と課題
 横田 茂 財政危機後のニューヨーク市の予算過程

〔学会消息〕

◆ 第44巻第1号 (1999年4月)

〔論文〕

- 大橋 昭一 最近のドイツ経営学におけるニックリッシュ (1)
 梶脇 裕二
 加藤 義忠 大店法の廃止と大店立地法の制定 (II)

〔資料〕

- 伊藤 健市 インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料 (2)
 —『労使関係活動の要約 (Resume of Industrial Relations Activities)』—

〔書評〕

- 榊原 胖夫 高橋望著『米国航空規制緩和をめぐる諸議論の展開』
 高橋 由明 大橋昭一編著『21世紀の大学・企業・社会』(関西大学出版部, 1998年)

◆ 第44巻第2号 (1999年6月号)

〔論文〕

- 岩佐 代市 公的金融システムをめぐる諸論点の考察
 大橋 昭一 最近のドイツ経営学におけるニックリッシュ (2)
 梶脇 裕二
 加藤 義忠 都市計画法の改正と中心市街地活性化法の制定

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 トニー・ギルピン「テーブルの下の新しい足—ハーヴェスターの労使協議会制度—」
 —インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料 (3) —

〔書評〕

- 陶山 計介 中田善啓著『マーケティングの進化』(同文館, 1998年)

◆ 第44巻第3号 (1999年8月号)

〔論文〕

- 大橋 昭一 現代社会における組織の力—「再帰的近代化の経営学」への一階梯—

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 ロバート・オザーン「従業員代表制」
 —インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料 (4) —

〔書評〕

- 宗像 正幸 藤田彰久著『生産文化論：生産文化とそのマネジメント』（関西大学出版会，1999年）
 長砂 實 芦田文夫著『ロシア体制転換と経済学—文明史における市場化』（法律文化社，1999年）

◆ 第44巻第4号（1999年10月号）

小西善雄教授古稀記念特集

献辞 商学部長 明神信夫

〔論文〕

- 岩城良次郎 商品の多様化現象—形態的多様性の類型化（テレビ商品を事例として）
 三ツ井光晴 21世紀に向けた商品学の再出発
 本岡 昭良 日本の電卓産業の構造転換と将来の展望
 荒木兵一郎 痴呆性高齢者に対応する住まいづくり
 中原 住雄 低温工学領域におけるマーケットの出現
 荒木 孝治 遺伝的プログラミングを用いたカオス制御
 岩佐 代市 銀行の自己資本と貸出行動—「貸し渋り」現象の考察—
 柴 健次 わが国における公会計の研究課題
 杉野 幹夫 グローバリゼーションの下での日本企業の海外進出におけるリスク対応
 須田 一幸 財務制限条項と経営者の裁量行動
 廣田 俊郎 現代企業の進化的イノベーション行動と技術開発方法論
 松本 祥尚 市場型間接金融における会計士業務の経済的機能
 水野 一郎 付加価値管理会計とスループット会計
 吉田 友之 愛媛FAZ構想の将来性に関する—考察—大学生の意識調査より—

小西善雄教授 略歴・著作目録

◆ 第44巻第5号（1999年12月号）

〔論文〕

- 荒木 孝治 自己組織化マップとカオス
 池島 正興 信用金庫の収益動向の地域的差異
 大橋 昭一 「組織された資本主義」から「組織揺らぎの資本主義」へ—「再帰的近代化の経営学」への一過程—（1）
 竹林 浩志 組織における構成員の認識とリーダーシップ

〔資料〕

- 伊藤 健市 1936年全国労働関係委員会の「裁定と命令」（上）
 —インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料（5）—

〔書評〕

- 野口 晃弘 須田一幸著『財務会計の機能—理論と実証—』（白桃書房，2000年）

◆ 第44巻第6号（2000年2月号）

〔論文〕

- 大橋 昭一 「組織された資本主義」から「組織揺らぎの資本主義」へ—「再帰的近代化の経営学」への一過程—（2）

加藤 義忠 戦前の流通機構

〔研究ノート〕

呉 小 丁 中国の百貨店と小売業態の特徴

〔資料〕

伊藤 健市 1936年全国労働関係委員会の「裁定と命令」(下)

—インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料(5)—

〔学会消息〕

◆ 第45巻第1号 (2000年4月号)

〔論文〕

加藤 義忠 高度経済成長期の流通機構

〔資料〕

伊藤 健市 1929・30年度の特別協議委員会年次報告書

井上 昭一 国際的な自動車業界の再編成と統合—M&Aを中心に—

柴 健次 日本企業のディスクロージャー行動に関する調査報告

◆ 第45巻第2号 (2000年6月号)

大橋昭一教授定年退職記念特集

献辞 商学部長 明神信夫

〔論文〕

エケハルト・ザクセ グローバル化の傾向—新しい条件下での人間と労働

竹林 浩志 訳

ミハエル・テンズル ベルリン商科大学における日本人留学生と日本経営学

梶脇 裕二

梶脇 裕二 経営学成立期の国民経済学における経営学的視点に関する一考察

—マーシャルとエーレンベルクの企業者論を中心として—

田中 照純 企業の人員削減と社会的責任

正亀 芳造 管理職年俸制と職能給

吉田 和夫 ゴットルの生活思想

井上 昭一 世界自動車会社のグローバル・スタンダード戦略

長砂 實 移行期ロシア企業における「所有と経営」問題

廣瀬 幹好 Industrial Engineeringの生成

大西昭一教授 略歴・著作目録

◆ 第45巻第3号 (2000年8月号)

〔論文〕

伊藤 健市 大恐慌期の特別協議委員会—その雇用政策とくにワークシェアリングへの対応を中心に—

岩佐 代市 個人の資産選択と証券投資信託—投信市場の発展及び金融システム変革への期待と課題—

邵 晓 光 中国经济体制转型的路径选择

張 松気 韓国におけるコーポレート・ガバナンスの特徴

〔書評〕

田中 和雄 井上昭一・黒川 博・堀 龍二編著

『アメリカ企業経営史—労務・労使関係の視点を基軸として—』(税務経理協会, 2000年)

◆ 第45巻第4号 (2000年10月)

亀井利明教授古稀記念特集

献辞 商学部長 池島正興

〔論文〕

- 上田 和勇 リスクマネジメント研究の変遷と展望
 大城 裕二 信用危険管理に関する若干の考察—信用危険の評価を中心として—
 大谷 孝一 英国海上保険法上の重複保険についての若干の考察
 大橋 昭一 サービス活動としての管理活動
 —「再帰的近代化の経営学」への一視点—
 Bong-Hwan Kwak Insurance Industry and E-Business
 川崎 和治 ファミリー・リーガル・リスクと紛争処理
 貴志幸之佑 変革期における金融リスクとその管理
 白田 佳子 経営者の意思決定リスクと企業倒産との関係
 徐 聖 錫 中世パレルモの純粹保険契約
 竹内 準治 起業に関する考察とその展望
 戸出 正夫 心身喪失者の加害と賠償責任リスク—精神障害者の放火事件を中心として—
 中村 弘 欠陥部品に起因する危害に対する責任—製造物責任の一側面—
 奈良由美子 NPOはコミュニティ構築の牽引車になりうるか?
 —英国オックスファムの事例にみる公益型NPOの課題と展望—
 南方 哲也 環境マネジメントとリスク・コントロール—ISO14001を中心に—
 吉川 吉衛 環境戦略と経営戦略型リスクマネジメント
 羽原 敬二 リスクマネジメントにおける亀井理論の基本概念とその展開に関する一考察

亀井利明教授 略歴・著作目録

◆ 第45巻第5号 (2000年12月号)

〔論文〕

- 大橋 昭一 現在における自律的作業チームの意義と発展動向
 藤本くみ子 —「再帰的近代化の経営学」への一齣—
 横見 宗樹 BAA民営化に関する諸問題の検討

〔資料〕

伊藤 健市 1931～33年度の特別協議委員会年次報告書

〔書評〕

- 片岡 信之 D. A. レン・R. G. グリーンウッド共著 (井上昭一・伊藤健市・廣瀬幹好監訳)
 『現代ビジネスの革新者たち—テイラー、フォードからドラッカーまで』(ミネルヴァ書房, 2000年)

◆ 第45巻第6号 (2001年2月号)

〔論文〕

- 川上 智子 白物家電産業における生産・販売統合システムの革新—シャープ八尾工場の事例—
 須田 一幸 ERPパッケージと簿記教育
 廣田 俊郎 サービス産業における業界競争状況と経営環境諸動向との関連

〔研究ノート〕

- 岩佐 代市 IT革新の進展と金融システムの変容—機能と制度はどう変わるか—

〔資料〕

- 伊藤 健市 1934~36年度の特別協議委員会年次報告書

〔学会消息〕

◆ 第46巻第1・2号合併号 (2001年6月)

故 田中茂和教授追悼号

- 追悼の辞 商学部長 池島正興

〔論文〕

- 土井 教之 合併と競争政策—近年の合併活動が提起する課題
 伊藤 健市 ハーヴェスターにおける「独立」組合結成前史
 高橋 望 カナダの航空政策
 中間 敬弼 目的語にかかるPredicate Appositive
 廣瀬 幹好 マネジメントの起源再考
 廣田 俊郎 サービス業におけるサービス業務改善と新サービス開発への取り組みの背景
 松尾 聿正 会社再編と企業結合会計
 高田 清将 レスリスパーカーの人間関係論に関する一考察
 土屋 仁志 戦後におけるわが国百貨店の欧米展開

故 田中茂和教授 略歴・著作目録

◆ 第46巻第3号 (2001年8月)

〔論文〕

- 大橋 昭一 現在社会の動向についての一考察—「再帰的近代化の経営学」への一章—
 首藤 昭信 減益および損失回避と裁量的発生高
 福田 晴仁 地方民営鉄道の持続的維持方策に関する一考察

Jurgen Schraepen Cross-shareholding and the Long-run Performance of Stock Returns in the Japanese Keiretsu: An Empirical Analysis using panel date (1)

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 ロバート・オーザン「永遠なるユニオニズム」
 —インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料(6)—

◆ 第46巻第4号 (2001年10月)

〔論文〕

- 池島 正興 京都府の信用金庫
 伊藤 健市 ハーヴェスターにおける「独立」組合の結成

- 長谷川 伸 日系中小企業の中国進出とテクノセンター
 松尾 聿正 会計の機能とディスクロージャー
 Jurgen Schraepen Cross-shareholding and the Long-run Performance of Stock Returns in the Japanese
 Keiretsu: An Empirical Analysis using panel date (PART 2)
 吉城 唯史 J. H. Williamsの変動予算論—1924年の所説から—

◆ 第46巻第5号 (2001年12月)

〔論文〕

- 荒木 孝治 株式市場における空間構造
 Katsuya Ue Expectations, Liquidity Trap, and Economic Fluctuations
 長砂 實 「帝国主義的グローバリゼーション」に対する「社会主義的オルターナティブ」の問題性—
 ゲ・ジュガーノフの見解に寄せて—

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 サンフォード・M. ジャコービ著「不自然な消滅：独立ローカル組合の興隆と没落」

◆ 第46巻第6号 (2002年2月)

〔論文〕

- 大倉雄次郎 連結納税と租税回避—会計評価との関連—
 岸谷 和広 製品進化研究の新視点

〔研究ノート〕

- 松尾 聿正 金融資産会計 (1)

〔資料〕

- 伊藤 健市 1941年全国労働関係委員会の「裁定と命令」
 —インターナショナル・ハーヴェスター社労使協議会制度に関する資料 (7) —

〔学会消息〕

◆ 第47巻第1号 (2002年4月)

〔論文〕

- 宇恵 勝也 信用経路と金融的不安定性
 大倉雄次郎 フランス連結納税制度の会計的検討
 笹倉 淳史 ビジネスレポーターの青写真—ICASの提案—
 長谷川 伸 ウジミナス建設プロジェクトと技術移転—日本鉄鋼業による対ブラジル技術移転 (1) —
 廣田 俊郎 サービス業におけるサービス価値向上戦略
 横田 茂 「2001年9月11日」後のニューヨーク市の経済と財政
 徐 国 君 所有権の変遷と会計次元の発展
 鈴木 雄也 OEM戦略におけるブランド管理—戦略課題と可能性—

〔研究ノート〕

- 松尾 聿正 金融資産会計 (2)

◆ 第47巻第2・3号合併号 (2002年8月号)

長砂 實教授古稀記念特集

献辞 学部長 池島正興

〔論文〕

- 浅尾 仁 ルーマニアのコプシャ・ミカにおける環境問題
 芦田 文夫 ロシア「移行経済」と制度論的アプローチ
 井手 啓二 中国の都市住宅制度改革—国有企業改革，市場経済化の一側面—
 稲村 毅 バーナーズの組織概念を巡る—考察
 岩林 彪 現代社会主義論ノート
 大橋 昭一 個人化理論の基本的諸類型—「再帰的近代化の経営学」のための素描—
 岡田 進 ロシアにおける本源的蓄積の特質
 上島 武 フルシチョフ再論—1962年の党改革をめぐって—
 酒井正三郎 北東アジアにおける地域間経済協力について
 田中 宏 EU加盟交渉の最終局面—何をめぐり東欧とEUは交渉しているのか—
 西岡 俊哲 わが国における小売業の長期的変化に関する—試論
 保坂 哲郎 ロシアにおける予算連邦主義の現状と課題
 水田 明男 ロシアの税制改革と年金制度—統一社会税の導入と年金改革—
 溝端佐登史 ロシアの市場移行における国家の失敗
 陶山 計介 雪印ブランドの「失墜」
 長谷川 伸 ウジミナス建設期における技術研修と操業指導
 —日本鉄鋼業による対ブラジル技術移転（2）—

長砂實教授 略歴・研究業績

◆ 第47巻第4・5号合併号（2002年12月号）

松谷 勉教授古稀記念特集

献辞 商学部長 羽鳥敬彦

〔論文〕

- 生駒 道弘 株価極大化原理はグローバル・スタンダードか？
 大橋 昭一 再帰的近代化の理論の概要—「再帰的近代化の経営学」のためのテーゼ—
 須田 一幸 クラスタ分析による会計基準の国際的類型化
 百合岡靖裕
 堤 多嘉男 先物批判と市場規制
 服部 泰彦 金融機関・銀行のコーポレート・ガバナンス
 潘 志仁 「満州国」における科学的管理法の移転
 —東洋人織安東工場の事例を中心に—
 藤田 和孝 流通性のない運送証券（海上運送状）について—代替的運送証券としての機能—
 松村 勝弘 バブル崩壊までの日本の銀行の収益力分析
 Jurgen Schraepen Stock returns, volume and stock price volatility: An empirical firm-level analysis
 岩田 年浩 株価変動の新しい予測方法について
 —スペクトル図・音の発生・移動勾配の3つのフィルターにかけた分析結果—
 王 耀鐘 Eコマースに対する—考察—90年代の挫折から何を学んだか—
 井上 昭一 自動車企業の合併・買収と連合体の結成
 —ダイムラー・クライスラーとルノー・日産を素材にして—

- 岩佐 代市 決済システムの安定性をどう確保するか—預金保険制度vsナローバンク制度—
 鍛冶 邦雄 ベトナムにおける貧困とその緩和
 岸谷 和広 製品戦略の再検討
 松谷勉教授 略歴・著作目録

◆ 第47巻第6号 (2003年2月号)

〔論文〕

- 岩佐 代市 新規参入ネット銀行の現況について—比較財務分析に基づく観察と評価—
 大倉雄次郎 連結納税制度の企業対応動向調査分析結果
 加藤 義忠 製販連携の基本的性格
 柴 健次 スコットランド勅許会計士協会『会社報告の改善』プロジェクト (上)
 —正味実現可能価値会計と将来情報開示の理論的提言—
 徳常 泰之 保険制度の構成要件に関する一考察
 横田 茂 リストラクチャリングと都市財政危機
 柳 偉達 戦前期日本紡績業の萌芽のマーケティング

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 サンフォード・M・ジャコービィ著「ヒューマン・リソース・マネジメントの1世紀」

〔書評〕

- 平松 一夫 柴 健次著『市場化の会計学—市場経済における制度設計の諸相—』(中央経済社, 2002年)

〔学会消息〕

◆ 第48巻第1号 (2003年4月)

〔論文〕

- 池島 正興 累積国債の満期構成の長期化と国債管理政策・国債投資家 (上)
 —1970年代アメリカの国債管理政策と国債市場の一考察—
 Shoichi Ohashi Gewinnbeteiligung und Miteigentum
 Akira Watanabe —Eine gegenwärtige Bedeutung von Nicklischs Betriebswirtschaftslehre—
 柴 健次 スコットランド勅許会計士協会『会計報告の改善』プロジェクト (下)
 —正味実現可能価値会計と将来情報開示の理論的提言—
 中畠 道靖 マテリアルフローコスト会計と伝統的原価計算との相違について
 —マテリアルフローコスト会計への疑問と誤解に答えて—

〔翻訳〕

- 伊藤 健市 サンフォード・M・ジャコービィ著
 「従業員代表制とコーポレート・ガバナンス：ミッシングリンク (上)」

〔書評〕

- 陶山 計介 中田善啓著『マーケティングの変革：情報化のインパクト』(同文館, 2002年)

◆ 第48巻第2号 (2003年6月)

〔論文〕

- 池島 正興 累積国債の満期構成の長期化と国債管理政策・国債投資家 (下)
 —1970年代アメリカの国債管理政策と国債市場の一考察—

- 岩佐 代市 電子マネーについて (上) —発展の動向と若干の考察—
 大倉雄次郎 連結納税制度の企業対応動向調査の問題点
 —東京証券取引所第1部上場会社調査分析結果より—
 横田 茂 ニューヨーク市の構造転換とコミュニティ
 太田 浩司 価値関連研究におけるモデル特定化問題
 [翻訳]
 伊藤 健市 サンフォード・M・ジャコービ著
 「従業員代表制とコーポレート・ガバナンス：ミッシングリンク (下)」

◆ 第48巻第3・4号合併号 (2003年10月)

中間敬式教授古稀記念特集

献辞 商学部長 羽鳥敬彦

[論文]

- 伊藤 晃 他動詞と目的語の隣接性について
 伍 柏麟 国有经济在中国国民经济中的地位
 高橋 伸光 ビジネス英語表現とメトニミー
 Takayoshi Takei Some Suggestions for the Way of Writing a Revised UCP
 Shun-itsu Nakasaco A Study on Japanese Style Negotiation
 中邑 光男 「『英語が使える日本人』の育成のための行動計画」がビジネス英語教育に対して持つ意味
 Michiru Hano Stories: Gateways to Life, Language, Culture, and Pedagogy
 林 純三 「しまい」指向の英語表現—日英の発想を考える—
 潘 志仁 「満州国」における日本レーヨン工場の賃金管理—東洋紡績会社の事例研究
 高橋 望 関西圏における複数空港のあり方—神戸空港の機能と役割を中心に—
 長谷川 伸 ブラジル鉄鋼業のリストラクチャリングと民営化
 横田 茂 ニューヨーク市の再生とコミュニティ (上) —「世界都市」化と住宅問題—
 中間敬式教授 略歴・著作目録

◆ 第48巻第5号 (2003年12月)

[論文]

- 池島 正興 1980年代アメリカの国債市場と国債ディーラーの破綻
 岩佐 代市 電子マネーについて (下) —発展の動向と若干の考察—
 大倉雄次郎 アメリカ連結納税制度における欠損金とSRLYの検討
 片岡 進 企業にみられる所有概念に関する—考察—
 —法的所有から経済的所有、「所有者意識」までの多様性—
 末政 芳信 ソニーのビジネスセグメント情報の分析 (1) —金融ビジネスセグメント情報に注目して—
 鶴田 廣巳 サステナビリティと税制改革 (上)
 徳常 泰之 リスクマネジメントの目的に関する—考察—
 横田 茂 ニューヨーク市の再生とコミュニティ (下) —「世界都市」化と住宅問題—
 高見 仁 自動車産業と環境問題—燃費規制を中心として—
 古江 晋也 ブランドの資産計上に関する—考察—

◆ 第48巻第6号 (2004年2月)

〔論文〕

- 大倉雄次郎 第2回連結納税の企業対応動向調査の集計と分析結果
 鍛冶 邦雄 ホーチミン市における貧困—SCFの調査報告より—
 末政 芳信 ソニーのビジネスセグメント情報の分析(2)—金融ビジネスセグメント情報に注目して—
 鶴田 廣巳 サステナビリティと税制改革(下)
 富田 知嗣 利益の指標性に対する株式市場の反応
 馮 睿 中国における流通システムの変容
 村上 喜郁 GM社における製品政策の生成—デュラントからスローンへ—

〔学会消息〕

◆ 第49巻第1号 (2004年4月)

〔論文〕

- 井上 昭一 日米自動車企業の経営戦略—GM, いすゞ, スズキの提携強化を事例として—
 大倉雄次郎 第2回連結納税の企業対応動向調査の課題
 —平成15年東京証券取引所第1部上場会社他より—
 加藤 義忠 現代流通をとらえる基礎視角
 鶴田 廣巳 イギリスにおける法人税改革とインテグレーション(上)
 松尾 隼正 環境情報開示目的に関する業種比較
 李 容相 日本の鉄道貨物輸送の現状と課題(上)
 安部 誠治
 馬 文傑 格付変更の株価効果に関する分析
 勝田 英紀
 荒木 孝治

〔研究ノート〕

- 伊藤 健市 *Working in America*をどう読む—キャベリ教授とジャコービ教授の場合—
 横田 茂 9.11事件のニューヨーク市被災地域に対する連邦財政援助—連邦会計検査庁のレポート—

〔書評〕

- 竹下 公視 A. G. ホップウッド&P. ミラー編著 岡野浩・國部克彦・柴健次監訳
 『社会・組織を構築する会計—欧州における学際的研究—』(中央経済社, 2003年)

◆ 第49巻第2号 (2004年6月号)

〔論文〕

- 池島 正興 国債市場の規制と「1986年国債法」—1980年代アメリカの国債管理政策の—コマー
 宇恵 勝也 利潤率, 株価および利子率(上)
 鶴田 廣巳 イギリスにおける法人税改革とインテグレーション(下)
 馬場 一 国際マーケティング標準化—適応化フレームワークの再構築
 吉田 友之 地方港湾地域におけるトレード・タームズの時系列分析
 —大分地域所在貿易業者対象の調査より—
 李 容相 日本の鉄道貨物輸送の現状と課題(下)
 安部 誠治

野村比加留 戦前日本の麦酒産業におけるマーケティングに関する一考察

〔翻 訳〕

伊藤 健市 アメリカ人の働き方は変化したのか
サンフォード・M・ジャコービ著「返答：消滅との報告は時期尚早である」

◆ 第49巻第3・4号合併号（2004年10月）

保田芳昭教授古稀記念特集

献辞 商学部長 鶴田廣巳

〔論 文〕

- 薄井 和夫 戦前期森永マーケティングの再検討—流通系列化政策を中心に—
齋藤 雅通 スイスの小売市場とミグロ生協の事業展開—消費生協としての歴史・理念・現状—
坂本 秀夫 中小小売業者の存立基盤と存在意義
佐々木保幸 中心市街地活性化法の現状と課題
出家 健治 小売業の主要業態の論理構造—百貨店とスーパーの基本構造—
西村多嘉子 「現代消費者政策」制度設計の課題—『21世紀型消費者政策の在り方』をめぐる—
野村比加留 戦前の明治製菓におけるマーケティングに関する一考察
馬場 雅昭 中小零細小売商問題の展開
真部 和義 今日のイギリスの小売商業政策—1990年代以降を例にとりて—
宮内 拓智 「高度情報ネットワーク社会」のマーケティング・パラダイム
加藤 義忠 低成長期の流通機構の特徴
杉本 貴志 事業連合時代における生協ガバナンス—組合員主権組織の現代的展開—

保田芳昭教授 略歴・著作目録

◆ 第49巻 第5号（2004年12月）

〔論 文〕

- 荒木 孝治 品質管理本のソーシャルライフ
伊藤 健市 障害をもつアメリカ人法と“重大な支障”
宇恵 勝也 利潤率、株価および利子率（下）
柴 健次 簿記教育の基本問題とeラーニングの効用
高屋 定美 EMSでの為替レートの役割—実質為替レートの役割は重要であったのか—
鶴田 廣巳 法人税と国際的インテグレーション—その理念型と現実—
廣田 俊郎 サービス業における経営成果の基本構造とその規定要因
横田 茂 ニューヨーク市の予算制度と財政破綻
吉田 友之 中小零細貿易業者におけるトレード・タームズの使用動向研究（I）
—11カ所の地方輸入促進地域でのアンケート結果より—
李 崢 英米のSales Letterに関する一考察

〔資 料〕

井上 昭一 フォード自動車会社のトップ人事—「所有」と「経営」の確執—

◆ 第49巻 第6号 (2005年2月)

〔論文〕

- 池島 正興 90年代アメリカ国債市場規制の新展開
 鍛冶 邦雄 移民労働の問題によせて
 高屋 定美 機関投資家の資産運用と市場の流動性
 外島 健嗣
 鶴田 廣巳 法人課税の諸類型と国際的インテグレーション
 富田 知嗣 証券市場での企業価値評価と会計システムとの相互関連モデル
 吉田 友之 中小零細貿易業者におけるトレード・タームズの使用動向研究 (Ⅱ)
 —11カ所の地方輸入促進地域でのアンケート結果より—

〔資料〕

- 井上 昭一 GM販売金融会社に関する一考察—1920年代を中心として—

〔書評〕

- 野村健太郎 大倉雄次郎著『連結納税会計論』(関西大学出版部, 2004年)

〔学会消息〕

◆ 第50巻 第1号 (2005年4月)

〔論文〕

- 池島 正興 ソロモン・ブラザーズ事件と国債市場改革
 宇恵 勝也 貨幣経路と信用経路の動的相互作用 (上)
 大倉雄次郎 合併会計の実務的観点からの検討
 鶴田 廣巳 国際的インテグレーションと国際租税調整 (上)
 廣瀬 幹好 技師とマネジメント思想 (上) —F. W. テイラーと人間協働の科学—
 横田 茂 ニューヨーク市の財政危機と予算制度改革
 吉田 友之 トレード・タームズの使用実態に関する分析 (上) —山口県、愛媛県、高知県の場合—
 外島 建嗣 マーケットメイク制度導入が株式流動性に与える影響
 高屋 定美

〔資料〕

- 井上 昭一 『挑戦』

〔書評〕

- 加藤 義忠 岩永忠康著『現代日本の流通政策—小売商業政策の特徴と展開—』(創成社, 2004年)

◆ 第50巻 第2号 (2005年6月)

〔論文〕

- 宇恵 勝也 貨幣経路と信用経路の動的相互作用 (下)
 大倉雄次郎 CSR (企業の社会的責任) 動向調査分析結果とその課題
 末政 芳信 会計基準の相違による連結キャッシュ・フロー計算書数値の変容についての考察
 —SEC基準採用に伴うトヨタ自動車株式会社の事例に学ぶ—
 鶴田 廣巳 国際的インテグレーションと国際租税調整 (下)
 廣瀬 幹好 技師とマネジメント思想 (下) —F. W. テイラーと人間協働の科学—
 吉田 友之 トレード・タームズの使用実態に関する分析 (下) —熊本県、大分県の場合—

水谷 聡秀 二者関係における虚言行為に対する評価の検討—2つの予備調査を通して—
柴 健次

〔資料〕

井上 昭一 ウォルター・P・クライスラー

◆ 第50巻 第3・4号合併号 (2005年10月)

三上宏美教授古稀記念特集

献辞 商学部長 鶴田廣巳

〔論文〕

- 斎藤 峻彦 不採算公共交通政策の経緯と課題
正司 健一 日本の都市鉄道整備の一手法：神戸高速鉄道のケース
土居 靖範 ひとと環境にやさしい都市交通の実現を今こそ急ごう
西村 弘 道路公害と道路政策—道路政策は変わったか—
松澤 俊雄 道路貨物輸送需要と輸送ロットの分析
水谷 淳
山本 雄吾 メール便の現状と課題—一般信書便市場へのメール便事業者参入の可能性—
安喜 博彦 企業としての統合と企業間関係
安部 誠治 青函トンネルの経験と日韓海底トンネル構想への示唆
池島 正興 ソロモン・ブラザーズ事件と国債市場規制改革
加藤 義忠 大規模小売店舗立地法の制定
馬場 一 組織間における長期的関係性の負の側面
廣田 俊郎 サービス業における戦略的重要情報
横田 茂 1990年代のニューヨーク市の経済と予算政策 (上)

三上宏美教授 略歴・著作目録

◆ 第50巻 第5号合併号 (2005年12月)

〔論文〕

- 伊藤 健市 労使関係カウンセラーズ社と特別協議委員会
笹倉 淳史 リスクの財務報告—ICAEWの討議資料を中心として—
杉本 貴志 イギリスにおける協同組合ガバナンスの改革と理論的探究—1990年代の経験と教訓—
高屋 定美 構造VARによるEMUでの政府支出効果の実証分析
横田 茂 1990年代のニューヨーク市の経済と予算政策 (中)
白谷 健一 環境配慮型BSCの構築
島田 奈美 のれんの資産性に対する証券市場の評価について

〔研究ノート〕

大橋 昭一 会社法の概要

◆ 第50巻 第6号 (2006年2月)

〔論文〕

- 大倉雄次郎 企業再編形態の選択における会計と税務の考察
鍛冶 邦雄 移民労働者と社会的費用—Eric Weinsteinの問題提起—

- 高橋 望 米国のオープンスカイ政策にどう対処するか
田村香月子 利用者からみる格付けの制度的特徴
富田 知嗣 レリバンス・ロストしていく資産評価—無形資産会計と有形固定資産評価の狭間で—
加藤 久明
横田 茂 1990年代のニューヨーク市の経済と予算政策（下）
王 劍虹 A株とH株の重複上場と発行価格
後藤こず恵 ブランド態度形成におけるブランド・パーソナリティの役割
—共分散構造分析を用いた製品カテゴリー間比較—

〔研究ノート〕

- 伊藤 健市 クラレンス・J・ヒックスと従業員代表制

〔資料〕

- 安部 誠治 韓国の鉄道安全法（上）
鄭 炳玟

〔書評〕

- 稲村 毅 廣瀬幹好著『技師とマネジメント思想—アメリカにおけるマネジメント思想の生成、1880年～1920年—』（文真堂、2005年）

〔学会消息〕